

# 豊島区

## 中小企業の景況

### Contents

- 1 都内中小企業の景況
- 2 豊島区の今期の特徴点
- 4 ・製造業
- 7 ・卸売業
- 9 ・小売業
- 12 ・サービス業
- 15 ・建設業
- 17 ・不動産業
- 29 中小企業景況調査 比較表と転記表
- コラム 日銀短観  
全国の景況  
倒産動向（東京都・豊島区）  
新設法人（東京都・豊島区）  
特別調査  
＜中小企業におけるSDGs（持続可能な開発目標）の  
取組状況について＞

豊島区文化商工部生活産業課

調査実施機関 一般社団法人 東京都信用金庫協会  
分析・作成 株式会社 東京商工リサーチ

円安進行・物価高の影響大きく、景気回復は減速後退

都内中小企業景況・6業種合計DI



円安進行の影響等による仕入価格の上昇が企業経営を圧迫し、業況判断DIは△17.2（前期△16.6）と前期に比べ△0.6ポイントとなり、景気回復基調は減速し、一時後退した。

来期は、新型コロナウイルス第7波の落ち着きとオミクロン株対応ワクチン普及の期待感から回復を期待するものの、長引く円安の影響による物価高とその上昇分を販売価格へ転嫁出来ていないことが景気を下振れさせる不安材料となっている。

※業況判断DI：「良い」企業割合－「悪い」企業割合 季節調整済

	前 期	今 期	増 減	来期予想	今期との増減
製造業	-17.3	-17.4	-0.1	-15.5	1.9
卸売業	-17.9	-18.1	-0.2	-16.8	1.3
小売業	-27.9	-28.0	-0.1	-25.9	2.1
サービス業	-19.1	-21.6	-2.5	-17.5	4.1
建設業	-4.5	-4.2	0.3	-1.7	2.5
不動産業	0.6	-1.6	-2.2	-3.1	-1.5
総 合	-16.6	-17.2	-0.6	-15.2	2.0

<製造業>

輸送用機械、電気機械、精密機械業を中心に落ち込みが大きかったことから、5期連続できた改善が止まり、業況は前期同様の状態で推移した。売上額・受注残・収益においても前期並に推移した。原材料価格は7期連続で上昇を続けているものの、価格転嫁は一部しか進まず、販売価格との差は広がっている。

経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「原材料高」の順となり、重点経営施策の上位2位は「販路を広げる」、「経費を節減する」の順となっている。

来期は原材料価格の上昇がやや落ち着きをみせることから、業況は若干の改善を予想している。売上額・受注残・収益については今期と同水準で変化がないとみている。

<卸売業>

円安等による仕入価格の上昇に伴い、食料品・飲料品業を中心に悪化し、業況改善は足踏み状態となった。売上額・収益の低下も前期並で推移した。価格面では仕入価格は7期連続で上昇を続けており、販売価格についても上昇を強め、販売価格への価格転嫁が進みつつある。

経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「仕入先からの値上げ要請」の順となり、重点経営施策の上位2位は前期同様に「販路を広げる」、「経費を節減する」の順となっている。

来期は売上額の改善が予想されるものの、収益に結びついていかないことから、業況は今期並で推移するとみている。

<小売業>

仕入価格の上昇が販売価格の値上げを引き離す勢いで高騰したことから、特に木材・建築材料業の悪化が強まり、業況は回復基調が減速して前期並で推移した。売上額・収益においては減少度合を強めた。

経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「仕入先からの値上げ要請」の順となり、重点経営施策の上位2位は前期同様に「経費を節減する」、「品揃えを改善する」の順となっている。

来期の業況は、売上額・収益ともにやや改善が見込まれることから、業況についても少し持ち直すと予想している。

<サービス業>

コロナ第7波の感染拡大と物価上昇の影響により、娯楽業の落ち込みが大きく業況は悪化した。売上額・収益においても減少した。価格面では材料価格は一段と上昇を強め、料金価格はわずかに上昇した。

経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「同業者間の競争の激化」の順となり、重点経営施策の上位2位は「経費を節減する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期は売上額・収益においても若干の改善を期待しており、業況はわずかに持ち直すと予想している。

<建設業>

前期の施工高に続き、受注残についても増加し、売上額も持ち直してきているものの、7期連続での原材料高の影響もあり業況回復は進まず、前期同様の水準で推移した。

経営上の問題点の上位2位は前期同様に「材料価格の上昇」、「人手不足」の順となり、重点経営施策の上位2位も前期同様に「経費を節減する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期は売上額についてプラスに転じると予想しており、業況も改善するとみている。受注残・施工高は今期並の増加で推移し、収益においてもわずかな改善がみられると期待している。

<不動産業>

前期悪化した売上額・収益は予想通りに落ち込みをみせ、業況も再び水面下に潜った。価格面では販売価格の上昇はやや落ち着きをみせ、仕入価格は前期並の上昇傾向で推移した。

経営上の問題点の上位2位は前期同様に「商品物件の不足」、「同業者間の競争の激化」の順となり、重点経営施策の上位2位も前期同様に「情報力を強化する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期の業況は今期並に推移すると予想している。売上額・収益についても同水準で推移するとみている。

【注】

ディフュージョン インデックス  
OD.I (Diffusion Indexの略)

D.I (ディーアイ) は、増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

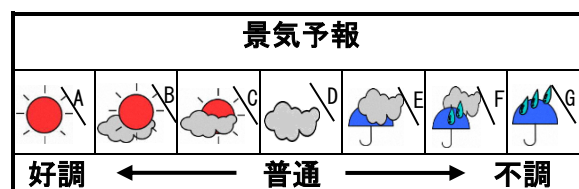
○ (季調済) D.I

季調済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD.Iを過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD.I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種 (例えば小売業) ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方法をみる方法です。

## 豊島区の今期の特徴点



### 製造業

前期	今期	来期
F	F	F

業況は厳しさが大きく和らいだ。売上額は前期同様の減少が続き、収益は減益がやや弱まった。

販売価格は上昇がやや強まり、原材料価格は上昇が大きく強まった。

資金繰りは窮屈感がやや緩和し、借入難易度は容易さが大きく増した。「借入をした／借入の予定あり」の割合は前期より増減なく、設備投資を「実施した・予定あり」の割合はやや減少した。

### サービス業

前期	今期	来期
G	F	F

業況は厳しさが大きく和らいだ。売上額、収益はともに前期同様の減少・減益が続いた。

料金価格、材料価格はともに上昇がやや強まった。

資金繰りは窮屈感が大きく緩和し、借入難易度は厳しさがやや強まった。「借入をした／借入の予定あり」の割合、設備投資を「実施した・予定あり」の割合はともに前期同様となった。

### 卸売業

前期	今期	来期
F	D	F

業況は厳しさが大きく和らいだ。売上額は増加幅がやや拡大し、収益は減益がやや弱まった。

販売価格は上昇が大きく弱まり、仕入価格は上昇が大きく強まった。

資金繰りは容易さがやや縮小し、借入難易度は容易さがやや縮小した。「借入をした／借入の予定あり」の割合は大きく減少し、設備投資を「実施した・予定あり」の割合は大きく増加した。

### 建設業

前期	今期	来期
D	F	E

業況は低調感が大きく強まった。売上額、収益はともに減少・減益幅が大きく拡大した。受注残は減少幅が大きく拡大し、施工高は増加から減少に転じた。

請負価格は前期同様の上昇が続き、材料価格は上昇が大きく強まった。

資金繰りは前期同様変わらず、借入難易度は容易さがやや増した。「借入をした／借入の予定あり」の割合は大きく増加し、設備投資を「実施した・予定あり」の割合は大きく減少した。

### 小売業

前期	今期	来期
E	F	E

業況は低調感がやや強まった。売上額、収益はともに減少・減益幅が大きく拡大した。

販売価格、仕入価格はともに上昇がやや強まった。

資金繰りは窮屈感がやや強まり、在庫は過剰感がやや改善し、借入難易度は前期同様の厳しさとなった。「借入をした／借入の予定あり」の割合はやや減少し、設備投資を「実施した・予定あり」の割合は前期同様となった。

### 不動産業

前期	今期	来期
B	C	C

業況は悪化に転じた。売上額、収益はともに増加から減少に転じた。

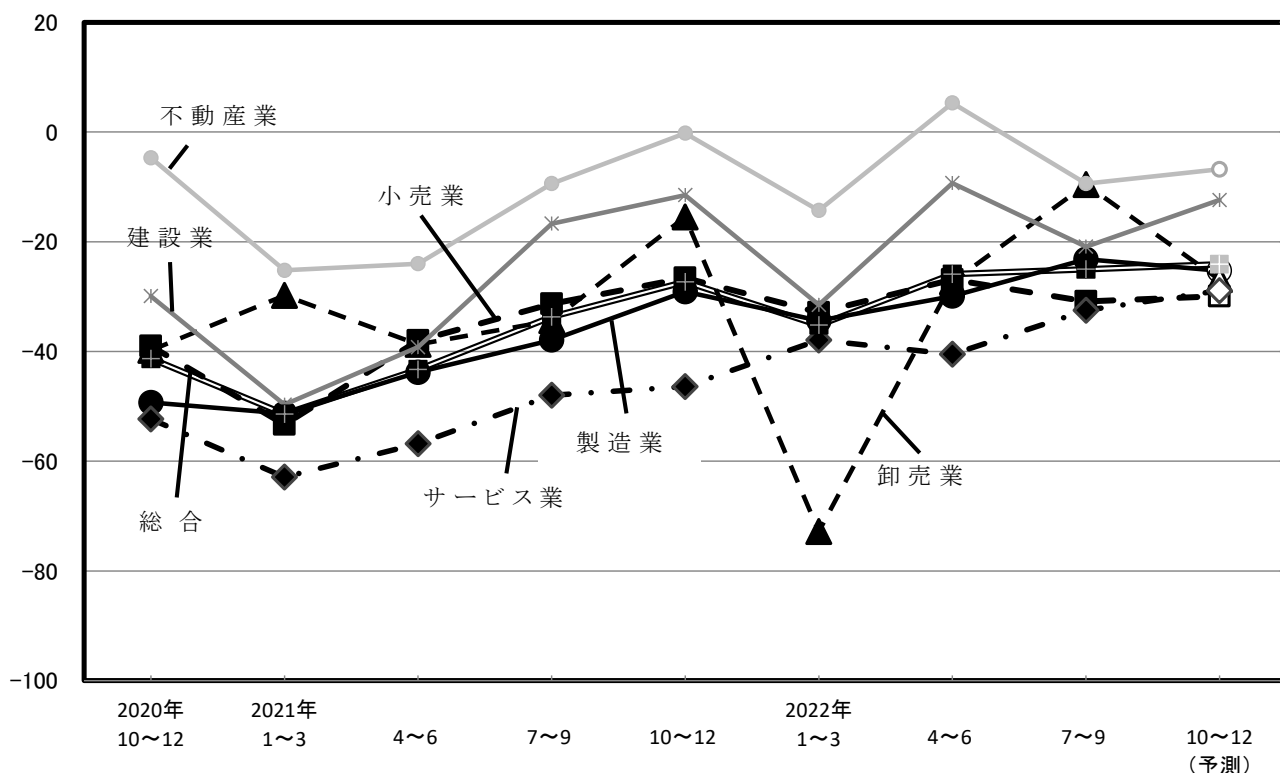
販売価格は上昇がやや弱まり、仕入価格は前期同様の上昇が続いた。

資金繰りは前期同様の容易さが続き、借入難易度は容易さがやや縮小した。「借入をした／借入の予定あり」の割合は前期より大きく減少した。

※本調査は季調済DI（修正値）を利用しており、文中のDIとは、これを指します。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

	前 期	今 期	増 減	来期予想	今期との増減
製 造 業	△ 29.9	△ 23.2	6.7	△ 25.3	△ 2.1
卸 売 業	△ 27.3	△ 9.6	17.7	△ 26.9	△ 17.3
小 売 業	△ 26.9	△ 30.9	△ 4.0	△ 29.9	1.0
サ ー ビ ス 業	△ 40.5	△ 32.5	8.0	△ 28.9	3.6
建 設 業	△ 9.3	△ 20.9	△ 11.6	△ 12.4	8.5
不 動 産 業	5.3	△ 9.4	△ 14.7	△ 6.8	2.6
総 合	△ 25.9	△ 25.0	0.9	△ 24.1	0.9



(参考：景況予報判断表)

	好調 ←			普通 → 不調			
製 造 業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
卸 売 業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
小 売 業	10以上	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31~△40	△41以下
サ ー ビ ス 業	15以上	14~5	4~△5	△6~△15	△16~△25	△26~△35	△36以下
建 設 業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
不 動 産 業	10以上	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31~△40	△41以下

# 製造業

## 業況

業況は厳しさが大きく和らいだ。DIは前期比6.7ポイント増の $\Delta 23.2$ となった。全都との比較では区が6ポイント下回った。

業種別では、「出版、印刷、製版、製本業」は厳しさが極端に和らぎ、「一般、金型、電気、輸送、精密機械」は低調感がやや強まった。

## 売上額と収益

売上額は前期同様の減少が続き、収益は減益がやや弱まった。DIは売上額が前期比0.7ポイント減の $\Delta 22.7$ 、収益は同2.3ポイント増の $\Delta 22.7$ となった。

受注残は前期同様の減少幅となった。DIは同0.9ポイント増の $\Delta 8.6$ となった。

## 価格動向

販売価格は上昇がやや強まり、原材料価格は上昇が大きく強まった。DIは販売価格が前期比2.1ポイント増の2.9、原材料価格は同13.9ポイント増の40.7となった。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは窮屈感がやや緩和し、DIは前期比2.6ポイント増の $\Delta 11.6$ となった。借入難易度は容易さが大きく増し、DIは同7.2ポイント増の12.5となった。「借入をした／借入の予定あり」の割合は前期より増減なく12.5%となった。

設備投資を「実施した・予定あり」の割合は同2.1ポイント減の12.8%となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

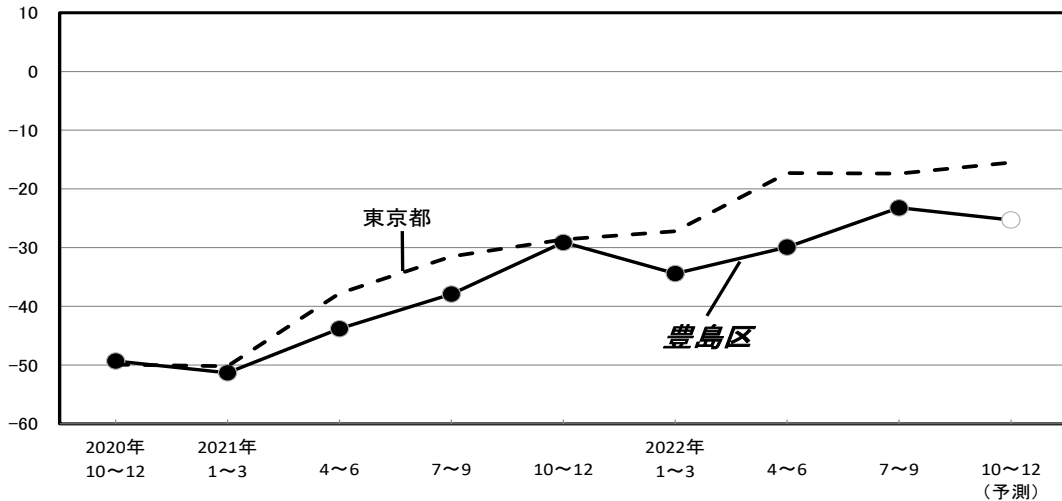
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が43.8%で最も高い。次いで「原材料高」が33.3%、「仕入先からの値上げ要請」が27.1%で続いた。

重点経営施策は、「経費を節減する」が47.9%で最も高い。次いで「販路を広げる」が41.7%、「情報力を強化する」が16.7%で続いた。

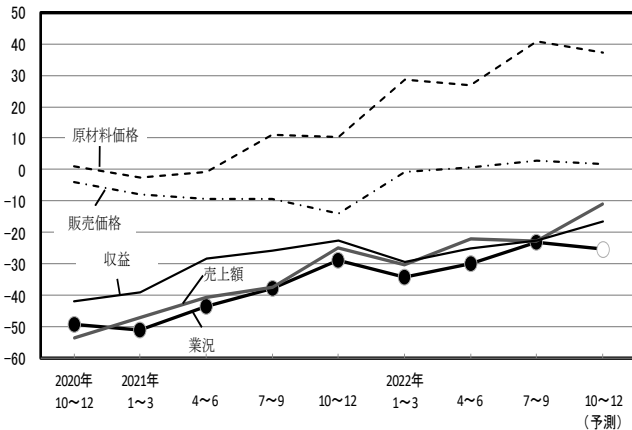
## 来期の見通し

来期について、業況は低調感がやや強まり、売上額、収益はともに大きく持ち直し、受注残は今期同様の減少幅で推移するとみられる。販売価格は今期同様で推移し、原材料価格は上昇がやや弱まると予想される。資金繰りは窮屈感がやや強まると見込まれる。

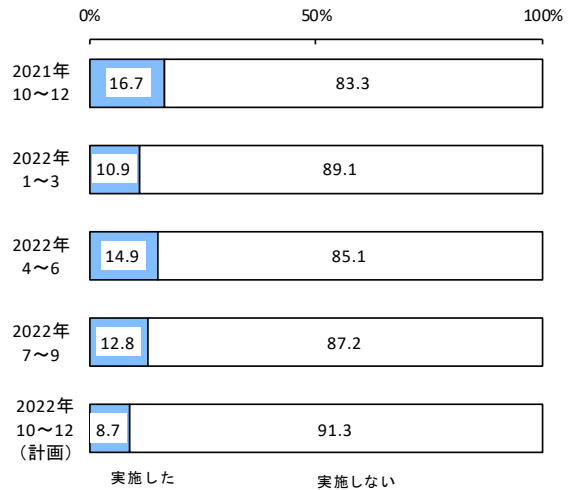
## 豊島区と全都の製造業・業況の動き（実績）と来期の予測



### 売上額、価格、収益の動き（実績）と来期の予測



### 設備投資動向



### 経営上の問題点

	2021年10~12月期		2022年1~3月期		2022年4~6月期		2022年7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	45.8 %	売上の停滞・減少	48.9 %	売上の停滞・減少	43.8 %	売上の停滞・減少	43.8 %
第2位	同業者間の競争の激化	18.8 %	原材料高	23.4 %	原材料高	33.3 %	原材料高	33.3 %
第3位	原材料高	14.6 %	同業者間の競争の激化	21.3 %	利幅の縮小	22.9 %	仕入先からの値上げ要請	27.1 %
第4位	工場・機械の狭小・老朽化	12.5 %	利幅の縮小	17.0 %	同業者間の競争の激化	22.9 %	同業者間の競争の激化	16.7 %
第5位	利幅の縮小	12.5 %	工場・機械の狭小・老朽化	8.5 %	仕入先からの値上げ要請	16.7 %	利幅の縮小	14.6 %
			仕入先からの値上げ要請	8.5 %				

### 重点経営施策

	2021年10~12月期		2022年1~3月期		2022年4~6月期		2022年7~9月期	
第1位	販路を広げる	58.3 %	販路を広げる	53.2 %	経費を節減する	56.3 %	経費を節減する	47.9 %
第2位	経費を節減する	41.7 %	経費を節減する	51.1 %	販路を広げる	43.8 %	販路を広げる	41.7 %
第3位	新製品・技術を開発する	14.6 %	情報力を強化する	17.0 %	情報力を強化する	16.7 %	情報力を強化する	16.7 %
第4位	情報力を強化する	14.6 %	新製品・技術を開発する	14.9 %	不採算部門を整理・縮小する	14.6 %	提携先を見つける	10.4 %
第5位	人材を確保する	12.5 %	提携先を見つける	12.8 %	人材を確保する	12.5 %	不採算部門を整理・縮小する	10.4 %
							新製品・技術を開発する	10.4 %

# 業種別動向

## 出版、印刷、製版、製本業

業況は厳しさが極端に和らいだ。DIは前期比28.4ポイント増の△46.8となった。売上額、収益はともに減少・減益幅が大きく縮小し、受注残は前期同様の減少となった。DIは売上額が前期比10.9ポイント増の△61.7、収益は同11.2ポイント増の△52.6、受注残は同0.3ポイント減の△46.5となった。

販売価格は下降が大きく弱まり、原材料価格は上昇に転じた。資金繰りは窮屈感がやや緩和した。

来期について、業況は厳しさがやや和らぐ見通し。売上額、受注残はともに大きく持ち直し、収益は減益が極端に弱まるとみられる。販売価格は下降がやや弱まり、原材料価格は上昇がやや弱まると予想される。資金繰りは今期同様の窮屈感で推移すると見込まれる。

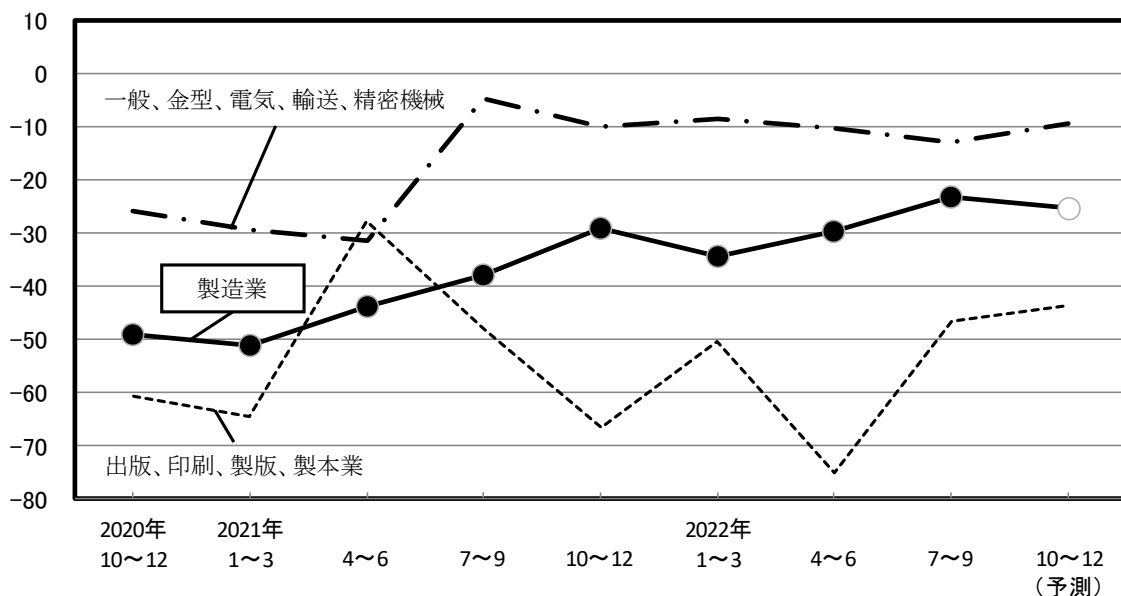
## 一般、金型、電気、輸送、精密機械

業況は低調感がやや強まった。DIは前期比2.6ポイント減の△13.0となった。売上額、収益はともに増加から減少に転じ、受注残は増加幅が大きく縮小した。DIは売上額が前期比8.6ポイント減の△8.5、収益は同2.9ポイント減の△2.5、受注残は同8.4ポイント減の1.0となった。

販売価格、原材料価格はともに上昇がやや強まった。資金繰りは前期同様の厳しさとなった。

来期について、業況は厳しさがやや和らぐ見通し。売上額は今期同様の減少幅で推移し、受注残は増加から減少に転じ、収益は減益が大きく強まるとみられる。販売価格は今期同様の上昇が続き、原材料価格は上昇が大きく強まると予想される。資金繰りは窮屈感がやや緩和すると見込まれる。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# 卸 売 業

## 業 況

業況は厳しさが大きく和らいだ。DIは前期比17.7ポイント増の△9.6となった。全都との比較では区が8ポイント上回った。

## 売上額と収益

売上額は増加幅がやや拡大し、収益は減益がやや弱まった。DIは売上額が前期比2.1ポイント増の3.3、収益は同4.1ポイント増の△2.1となった。

## 価 格 動 向

販売価格は上昇が大きく弱まり、仕入価格は上昇が大きく強まった。DIは販売価格が前期比8.0ポイント減の35.7、仕入価格は同15.9ポイント増の66.4となった。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは容易さがやや縮小し、DIは前期比5.1ポイント減の2.5となった。借入難易度は容易さがやや縮小し、DIは同3.3ポイント減の30.0となった。「借入をした／借入の予定あり」の割合は同13.3ポイント減の23.1%となった。

設備投資を「実施した・予定あり」の割合は同12.6ポイント増の30.8%となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「仕入先からの値上げ要請」が53.8%で最も高い。次いで「売上の停滞・減少」が38.5%、「同業者間の競争の激化」が30.8%で続いた。

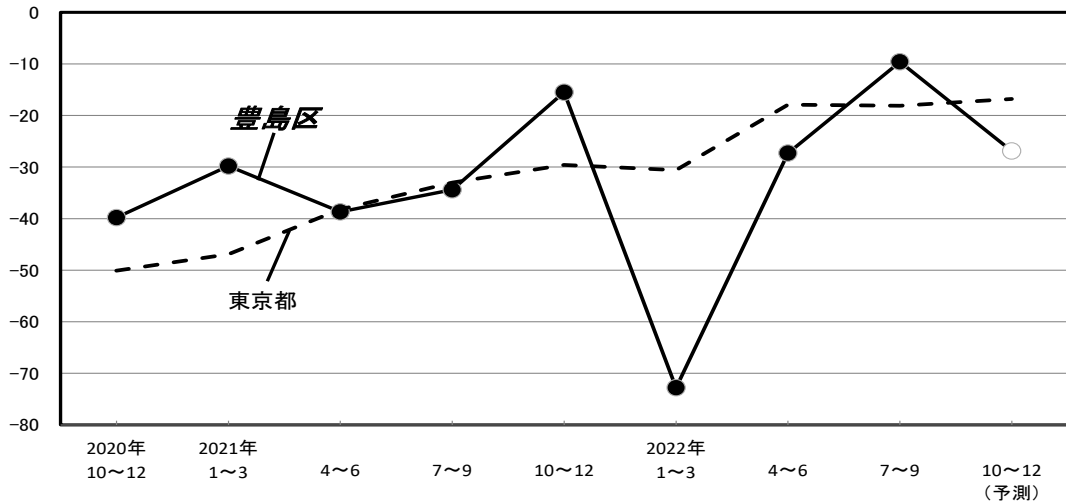
重点経営施策は、「販路を広げる」が69.2%で最も高い。次いで「経費を節減する」が38.5%、「人材を確保する」「情報力を強化する」がともに23.1%で続いた。

## 来期の見通し

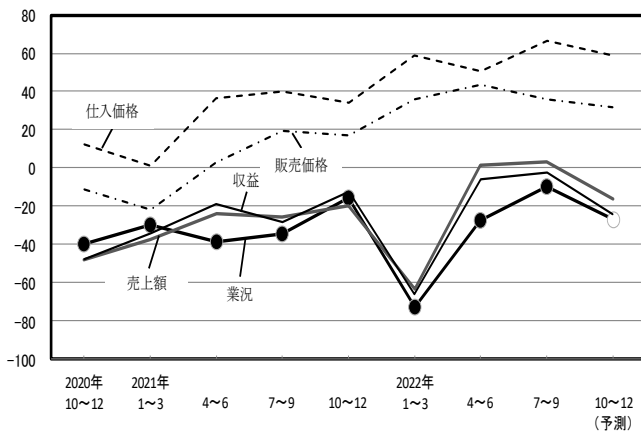
来期について、業況は低調感が大きく強まり、売上額は増加から減少に転じ、収益は減益が極端に強まるとみられる。販売価格は上昇がやや弱まり、仕入価格は上昇が大きく弱まると予想される。資金繰りは厳しい状況に転じると見込まれる。



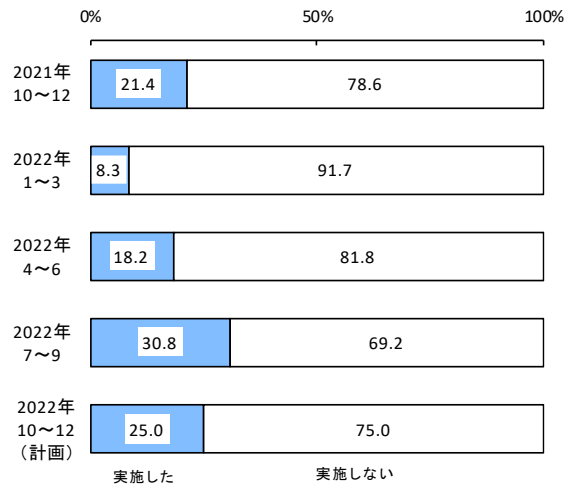
## 豊島区と全都の卸売業・業況の動き（実績）と来期の予測



## 売上額、価格、収益の動き（実績）と来期の予測



## 設備投資動向



## 経営上の問題点

	2021年10~12月期	2022年1~3月期	2022年4~6月期	2022年7~9月期
第1位	利幅の縮小 28.6 %	仕入先からの値上げ要請 33.3 %	仕入先からの値上げ要請 45.5 %	仕入先からの値上げ要請 53.8 %
第2位	仕入先からの値上げ要請 21.4 %	利幅の縮小 33.3 %	利幅の縮小 36.4 %	売上の停滞・減少 38.5 %
第3位	同業者間の競争の激化 21.4 %	売上の停滞・減少 33.3 %	同業者間の競争の激化 36.4 %	同業者間の競争の激化 30.8 %
第4位	売上の停滞・減少 21.4 %	同業者間の競争の激化 25.0 %	売上の停滞・減少 36.4 %	為替レートの変動 23.1 %
第5位	小口注文・多頻度配送の増加 14.3 %	小口注文・多頻度配送の増加 16.7 %	地場産業の衰退 9.1 %	利幅の縮小 23.1 %
		流通経路の変化による競争の激化 16.7 %	人手不足 9.1 %	
			輸入品との競争の激化 9.1 %	
			小口注文・多頻度配送の増加 9.1 %	
			販売商品の不足 9.1 %	
		販売納入先からの値下げ要請 9.1 %		
		取引先の減少 9.1 %		

## 重点経営施策

	2021年10~12月期	2022年1~3月期	2022年4~6月期	2022年7~9月期
第1位	販路を広げる 64.3 %	販路を広げる 75.0 %	販路を広げる 54.5 %	販路を広げる 69.2 %
第2位	情報力を強化する 42.9 %	品揃えを充実する 50.0 %	提携先を見つける 27.3 %	経費を節減する 38.5 %
第3位	品揃えを充実する 28.6 %	情報力を強化する 25.0 %	情報力を強化する 27.3 %	人材を確保する 23.1 %
第4位	新しい事業を始める 14.3 %	経費を節減する 25.0 %	経費を節減する 27.3 %	情報力を強化する 23.1 %
第5位	経費を節減する 14.3 %	輸入品の取扱いを増やす 8.3 %	人材を確保する 18.2 %	品揃えを充実する 15.4 %
		提携先を見つける 8.3 %	品揃えを充実する 18.2 %	
		人材を確保する 8.3 %		
		流通経路の見直しをする 8.3 %		

# 小 売 業

## 業 況

業況は低調感がやや強まった。DI は前期比 4.0 ポイント減の△30.9 となった。全都との比較では区が 3 ポイント下回った。

業種別では、「衣服、呉服、身の回り品」は厳しさが極端に和らぎ、「飲食料品」、「飲食店」はともに厳しさがやや和らいだ。

## 売上額と収益

売上額、収益はともに減少・減益幅が大きく拡大した。DI は売上額が前期比 6.8 ポイント減の△24.7、収益は同 6.6 ポイント減の△24.6 となった。

## 価 格 動 向

販売価格、仕入価格はともに上昇がやや強まった。DI は販売価格が前期比 4.6 ポイント増の 9.8、仕入価格は同 3.1 ポイント増の 20.4 となった。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは窮屈感がやや強まり、DI は前期比 4.5 ポイント減の△20.6 となった。在庫は過剰感がやや改善し、DI は同 3.3 ポイント減の 3.1 となった。借入難易度は前期同様の厳しさとなり、DI は同 0.1 ポイント増の△4.8 となった。「借入をした／借入の予定あり」の割合は同 3.8 ポイント減の 10.2% となった。

設備投資を「実施した・予定あり」の割合は同 0.3 ポイント減の 6.1% となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

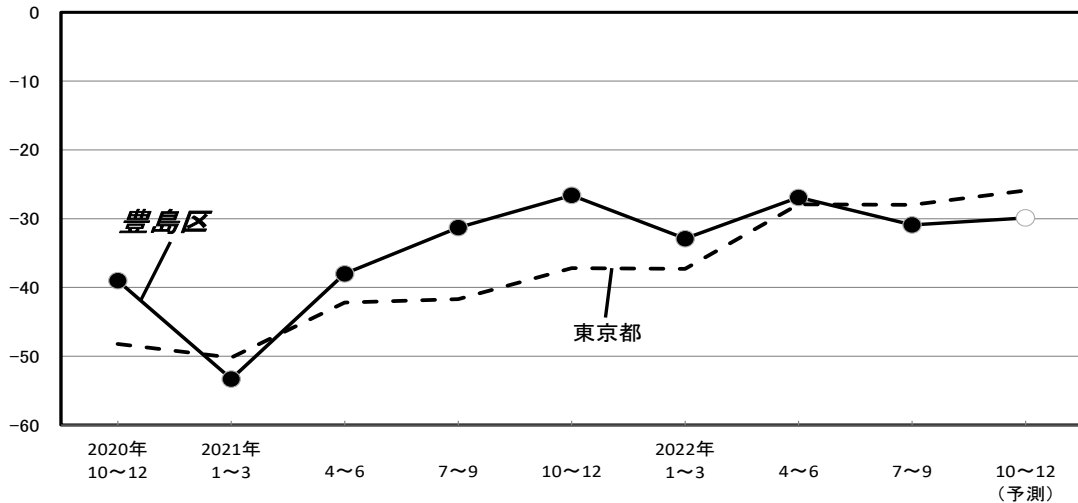
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が 40.8% で最も高い。次いで「仕入先からの値上げ要請」が 30.6%、「商店街の集客力の低下」が 24.5% で続いた。

重点経営施策は、「経費を節減する」が 55.1% で最も高い。次いで「品揃えを改善する」が 28.6%、「宣伝・広告を強化する」が 24.5% で続いた。

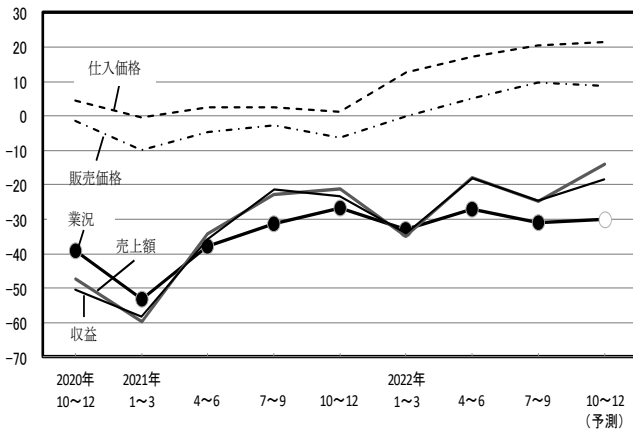
## 来期の見通し

来期について、業況は今期同様の低調感で推移し、売上額、収益はともに大きく持ち直すとみられる。販売価格、仕入価格はともに今期同様の上昇幅で推移すると予想される。在庫は今期同様の過剰感で推移し、資金繰りは窮屈感がやや緩和する見込みである

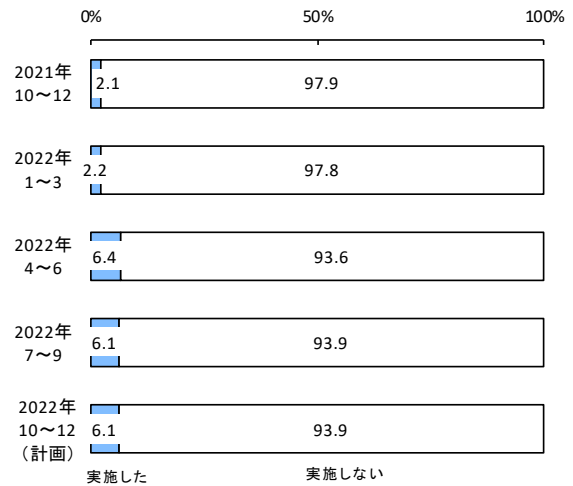
### 豊島区と全都の小売業・業況の動き（実績）と来期の予測



### 売上額、価格、収益の動き（実績）と来期の予測



### 設備投資動向



### 経営上の問題点

	2021年10~12月期	2022年1~3月期	2022年4~6月期	2022年7~9月期
第1位	売上の停滞・減少 38.0 %	売上の停滞・減少 45.7 %	売上の停滞・減少 38.0 %	売上の停滞・減少 40.8 %
第2位	商店街の集客力の低下 28.0 %	同業者間の競争の激化 28.3 %	大型店との競争の激化 26.0 %	仕入先からの値上げ要請 30.6 %
第3位	同業者間の競争の激化 26.0 %	商店街の集客力の低下 23.9 %	商店街の集客力の低下 22.0 %	商店街の集客力の低下 24.5 %
第4位	大型店との競争の激化 24.0 %	大型店との競争の激化 23.9 %	同業者間の競争の激化 22.0 %	同業者間の競争の激化 20.4 %
第5位	商圏人口の減少 10.0 %	仕入先からの値上げ要請 13.0 %	仕入先からの値上げ要請 18.0 %	大型店との競争の激化 18.4 %
		人手不足 13.0 %		

### 重点経営施策

	2021年10~12月期	2022年1~3月期	2022年4~6月期	2022年7~9月期
第1位	経費を節減する 50.0 %	経費を節減する 54.3 %	経費を節減する 50.0 %	経費を節減する 55.1 %
第2位	品揃えを改善する 24.0 %	宣伝・広告を強化する 26.1 %	宣伝・広告を強化する 36.0 %	品揃えを改善する 28.6 %
第3位	宣伝・広告を強化する 22.0 %	商店街事業を活性化させる 23.9 %	商店街事業を活性化させる 20.0 %	宣伝・広告を強化する 24.5 %
第4位	商店街事業を活性化させる 16.0 %	品揃えを改善する 21.7 %	売れ筋商品を取り扱う 20.0 %	商店街事業を活性化させる 16.3 %
第5位	売れ筋商品を取り扱う 14.0 %	売れ筋商品を取り扱う 17.4 %	品揃えを改善する 20.0 %	売れ筋商品を取り扱う 16.3 %

# 業種別動向

## 衣服、呉服、身の回り品

業況は厳しさが極端に和らいだ。DIは前期比32.8ポイント増の△11.3となった。売上額は増加幅が大きく拡大し、収益は増加から減少に転じた。DIは売上額が前期比15.1ポイント増の17.7、収益は同4.1ポイント減の△2.5となった。販売価格は上昇が大きく弱まり、仕入価格は前期同様の上昇が続いた。資金繰りは厳しい状況に転じた。

来期について、業況は厳しさが大きく和らぐ見通し。売上額は増加幅が大きく縮小し、収益はやや持ち直すとみられる。販売価格、仕入価格はともに今期同様の上昇幅で推移すると予想される。在庫は過剰感がやや改善し、資金繰りは容易になると見込まれる。

## 飲食料品

業況は厳しさがやや和らいだ。DIは前期比4.5ポイント増の△28.8となった。売上額は前期同様の減少が続き、収益はやや持ち直した。DIは売上額が前期比0.4ポイント増の△27.0、収益は同4.6ポイント増の△23.0となった。販売価格は前期同様の上昇が続き、仕入価格は上昇がやや弱まった。在庫は適正水準から品薄に転じ、資金繰りは窮屈感がやや緩和した。

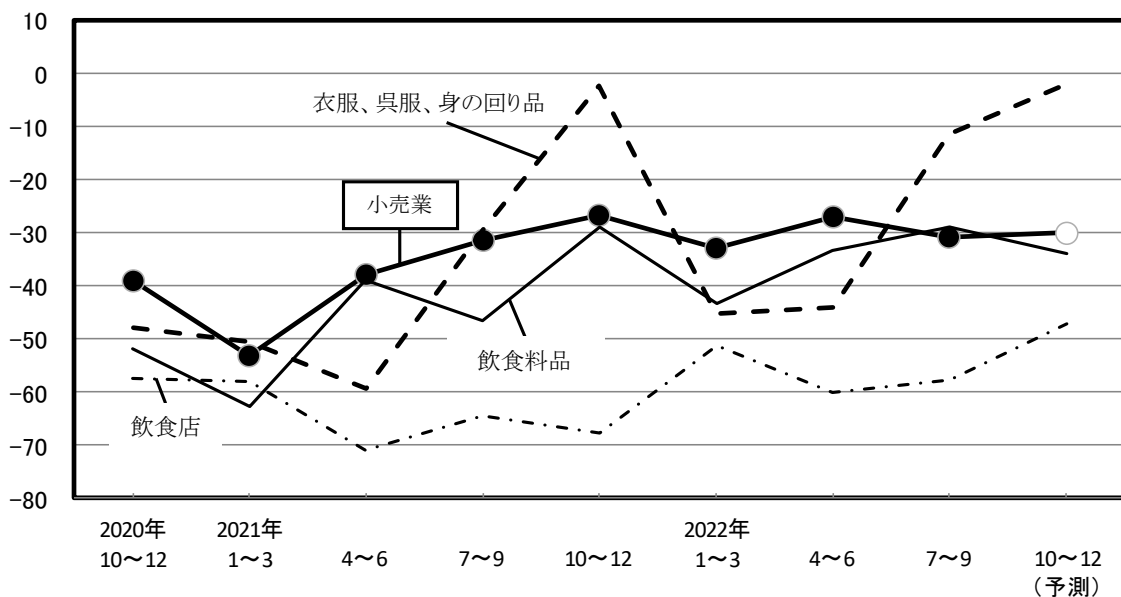
来期について、業況は低調感がやや強まる見通し。売上額、収益はともに大きく持ち直すとみられる。販売価格は今期同様の上昇幅で推移し、仕入価格は上昇がやや強まると予想される。在庫は過剰に転じ、資金繰りは窮屈感がやや緩和すると見込まれる。

## 飲食店

業況は厳しさがやや和らいだ。DIは前期比2.5ポイント増の△57.6となった。売上額、収益はともに減少・減益幅が大きく拡大した。DIは売上額が前期比7.2ポイント減の△54.0、収益は同11.5ポイント減の△43.8となった。販売価格は上昇に転じ、仕入価格は上昇が大きく強まった。在庫は不足感が大きく強まり、資金繰りは窮屈感がやや強まった。

来期について、業況は厳しさが大きく和らぐ見通し。売上額は減少幅が極端に縮小し、収益は今期同様の減益で推移するとみられる。販売価格は上昇から下降に転じ、仕入価格は上昇がやや弱まると予想される。在庫は今期同様の不足感が続き、資金繰りは窮屈感が大きく緩和すると見込まれる。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# サービス業

## 業況

業況は厳しさが大きく和らいだ。DI は前期比 8.0 ポイント増の $\Delta 32.5$ となった。全都との比較では、区が 11 ポイント下回った。

業種別では、「理容業」「美容業」はともに低調感がやや強まり、「洗濯業」は悪化傾向が極端に強まった。

## 売上額と収益

売上額、収益はともに前期同様の減少・減益が続いた。DI は売上額が前期比 0.4 ポイント減の $\Delta 16.9$ 、収益は同 1.6 ポイント減の $\Delta 19.3$ となった。

## 価格動向

料金価格、材料価格はともに上昇がやや強まった。DI は料金価格が前期比 2.9 ポイント増の 3.5、材料価格は同 2.5 ポイント増の 29.6 となった。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは窮屈感が大きく緩和し、DI は前期比 6.7 ポイント増の $\Delta 10.6$ となった。借入難易度は厳しさがやや強まり、DI は同 2.7 ポイント減の $\Delta 2.7$ となった。「借入をした／借入の予定あり」の割合は同 1.8 ポイント減の 8.2%となった。

設備投資を「実施した・予定あり」の割合は同 0.2 ポイント増の 12.2%となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

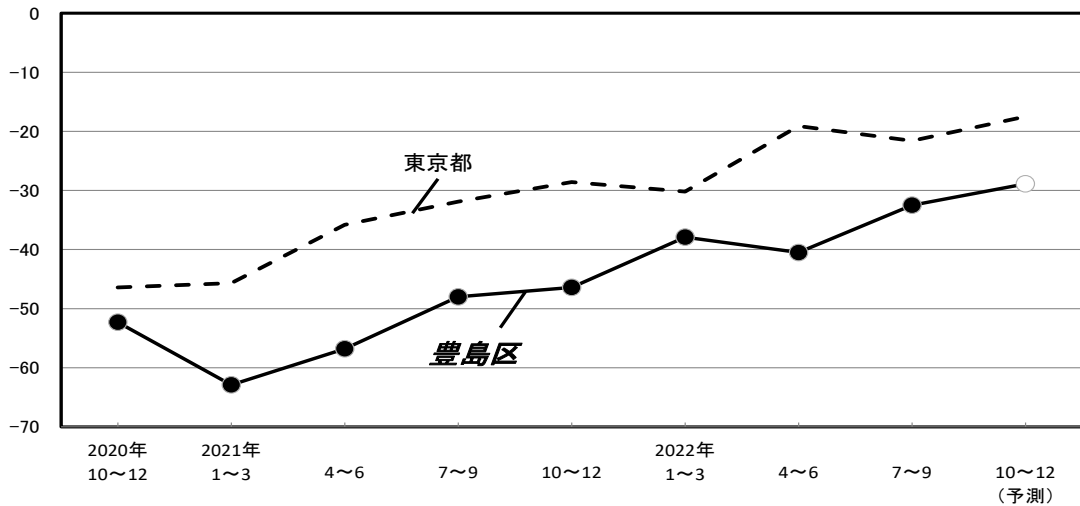
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が 42.9%で最も高い。次いで「同業者間の競争の激化」が 26.5%、「材料価格の上昇」が 24.5%で続いた。

重点経営施策は、「経費を節減する」が 42.9%で最も高い。次いで「販路を広げる」が 36.7%、「宣伝・広告を強化する」が 28.6%で続いた。

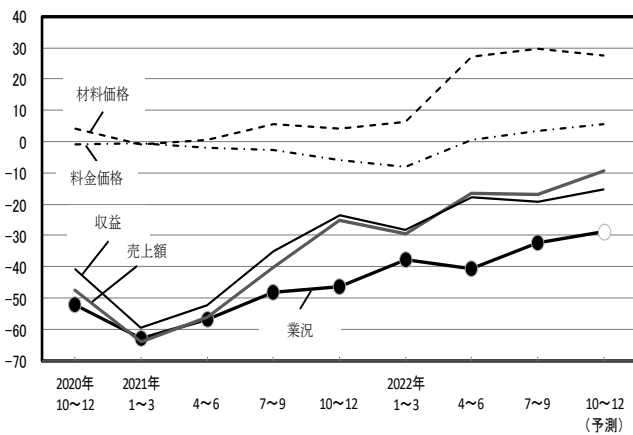
## 来期の見通し

来期については、業況は厳しさがやや和らぎ、売上額は減少幅が大きく縮小し、収益はやや持ち直すとみられる。料金価格は上昇がやや強まり、材料価格は上昇幅がやや縮小すると予想される。資金繰りは窮屈感がやや緩和する見込みである。

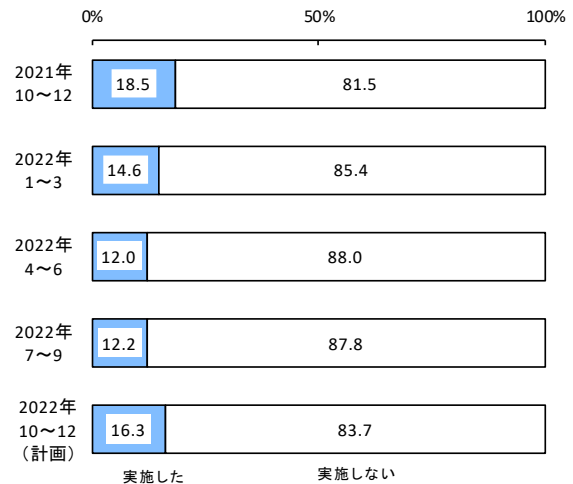
## 豊島区と全都のサービス業・業況の動き（実績）と来期の予測



## 売上額、価格、収益の動き（実績）と来期の予測



## 設備投資動向



## 経営上の問題点

	2021年10~12月期		2022年1~3月期		2022年4~6月期		2022年7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	48.1 %	売上の停滞・減少	51.0 %	売上の停滞・減少	50.0 %	売上の停滞・減少	42.9 %
第2位	同業者間の競争の激化	31.5 %	同業者間の競争の激化	32.7 %	同業者間の競争の激化	24.0 %	同業者間の競争の激化	26.5 %
第3位	取引先の減少	16.7 %	人手不足	16.3 %	材料価格の上昇	16.0 %	材料価格の上昇	24.5 %
第4位	人手不足	14.8 %	取引先の減少	12.2 %	利幅の縮小	16.0 %	取引先の減少	16.3 %
第5位	店舗・設備の狭小・老朽化	13.0 %	技術力の不足	12.2 %	取引先の減少	14.0 %	人手不足	16.3 %
			利幅の縮小	12.2 %				

## 重点経営施策

	2021年10~12月期		2022年1~3月期		2022年4~6月期		2022年7~9月期	
第1位	経費を節減する	38.9 %	経費を節減する	36.7 %	経費を節減する	44.0 %	経費を節減する	42.9 %
第2位	販路を広げる	35.2 %	販路を広げる	30.6 %	販路を広げる	34.0 %	販路を広げる	36.7 %
第3位	宣伝・広告を強化する	31.5 %	人材を確保する	24.5 %	宣伝・広告を強化する	24.0 %	宣伝・広告を強化する	28.6 %
第4位	技術力を強化する	18.5 %	宣伝・広告を強化する	20.4 %	技術力を強化する	22.0 %	技術力を強化する	24.5 %
第5位	人材を確保する	14.8 %	技術力を強化する	18.4 %	人材を確保する	16.0 %	人材を確保する	14.3 %

# 業種別動向

## 洗濯業

業況は悪化傾向が極端に強まった。DI は前期比 26.1 ポイント減の $\Delta 59.3$ となった。売上額、収益はともに減少・減益幅がやや拡大した。DI は売上額が前期比 2.8 ポイント減の $\Delta 44.2$ 、収益は同 5.7 ポイント減の $\Delta 43.8$ となった。料金価格は上昇が大きく強まり、材料価格は前期同様の上昇が続いた。資金繰りは窮屈感が極端に緩和した。

来期について、業況は厳しさが極端に和らぐ見通し。売上額、収益はともに減少・減益幅が極端に縮小するとみられる。料金価格は今期同様の上昇が続き、材料価格は上昇が大きく弱まると予想される。資金繰りは窮屈感がやや緩和すると見込まれる。

## 美容業

業況は低調感がやや強まった。DI は前期比 5.7 ポイント減の $\Delta 28.3$ となった。売上額は減少幅が大きく拡大し、収益は減益がやや強まった。DI は売上額が前期比 12.5 ポイント減の $\Delta 25.4$ 、収益は同 5.7 ポイント減の $\Delta 28.3$ となった。料金価格は上昇がやや弱まり、材料価格は上昇が大きく弱まった。資金繰りは窮屈感が大きく強まった。

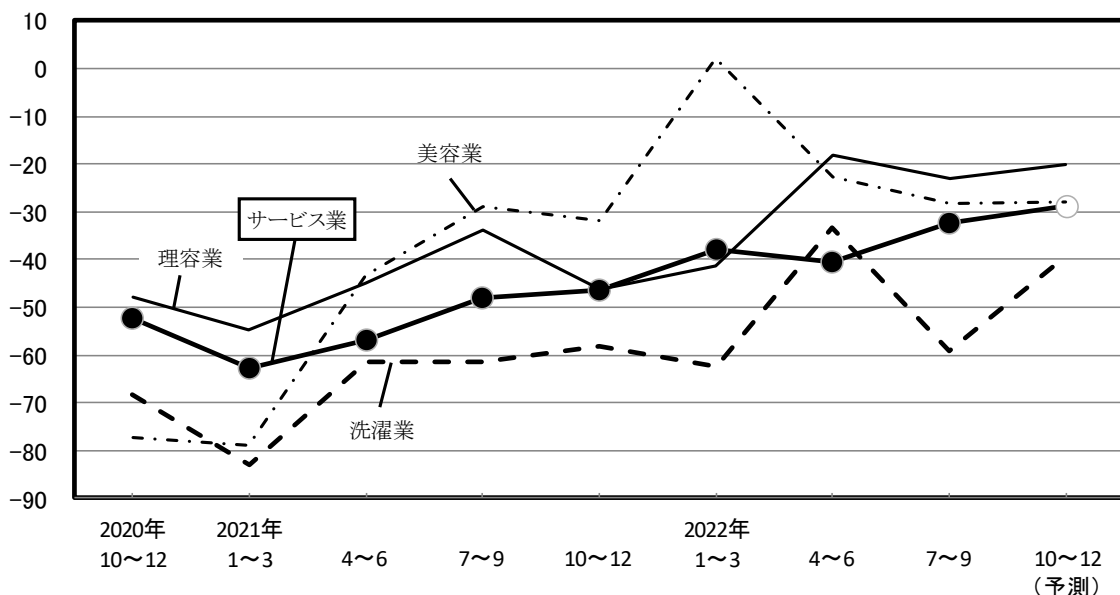
来期について、業況は今期同様の低調感で推移する見通し。売上額、収益はともに減少・減益幅がやや拡大するとみられる。料金価格は今期同様で推移し、材料価格は上昇がやや強まると予想される。資金繰りは今期同様の窮屈感で推移すると見込まれる。

## 理容業

業況は低調感がやや強まった。DI は前期比 4.8 ポイント減の $\Delta 22.9$ となった。売上額、収益はともに増加から減少に転じた。DI は売上額が前期比 27.3 ポイント減の $\Delta 11.1$ 、収益は同 43.9 ポイント減の $\Delta 18.8$ となった。料金価格は前期同様で推移し、材料価格は上昇が大きく弱まった。資金繰りは厳しい状況に転じた。

来期について、業況は厳しさがやや和らぐ見通し。売上額、収益はともに大きく持ち直すとみられる。料金価格は変動なく推移し、材料価格は今期同様の上昇が続くと予想される。資金繰りは今期同様の窮屈感で推移すると見込まれる。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# 建設業

## 業況

業況は低調感が大きく強まった。DIは前期比11.6ポイント減の $\Delta 20.9$ となった。全都との比較では、区が17ポイント下回った。

## 売上額と収益

売上額、収益はともに減少・減益幅が大きく拡大した。DIは売上額が前期比10.6ポイント減の $\Delta 16.8$ 、収益は同14.4ポイント減の $\Delta 29.8$ となった。

## 受注残・施工高

受注残は減少幅が大きく拡大し、施工高は増加から減少に転じた。DIは受注残が前期比6.6ポイント減の $\Delta 12.8$ 、施工高は同8.8ポイント減の $\Delta 1.6$ となった。

## 価格動向

請負価格は前期同様の上昇が続き、材料価格は上昇が大きく強まった。DIは請負価格が前期比1.8ポイント増の12.1、材料価格は同9.6ポイント増の65.5となった。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期同様変わらず、DIは前期比0.9ポイント減の $\Delta 1.1$ となった。借入難易度は容易さがやや増し、DIは同3.9ポイント増の7.7となった。「借入をした／借入の予定あり」の割合は同6.9ポイント増の13.8%となった。

設備投資を「実施した・予定あり」の割合は同9.6ポイント減の3.7%となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」が69.0%で最も高い。次いで「売上の停滞・減少」が34.5%、「利幅の縮小」が20.7%で続いた。

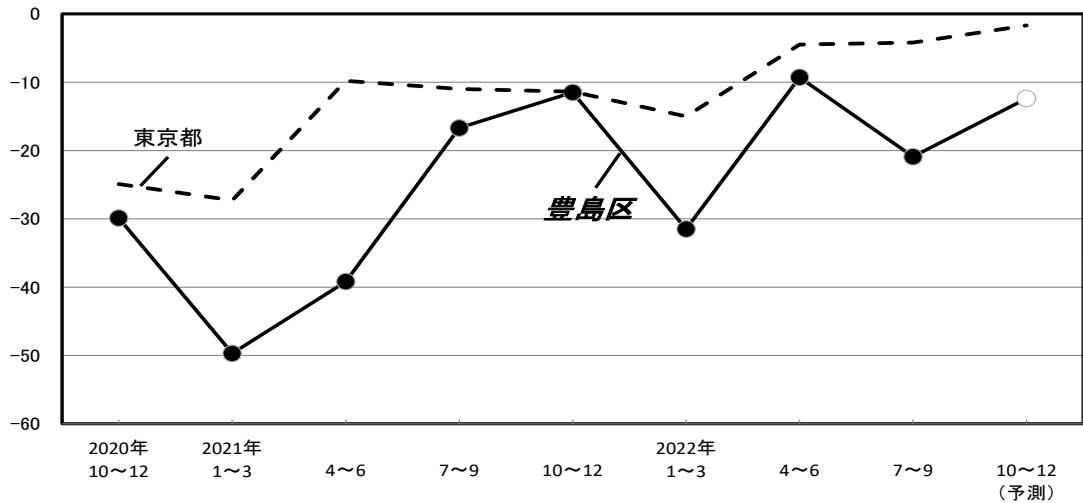
重点経営施策は、「販路を広げる」が48.3%で最も高い。次いで「経費を節減する」が41.4%、「情報を強化する」が24.1%で続いた。

## 来期の見通し

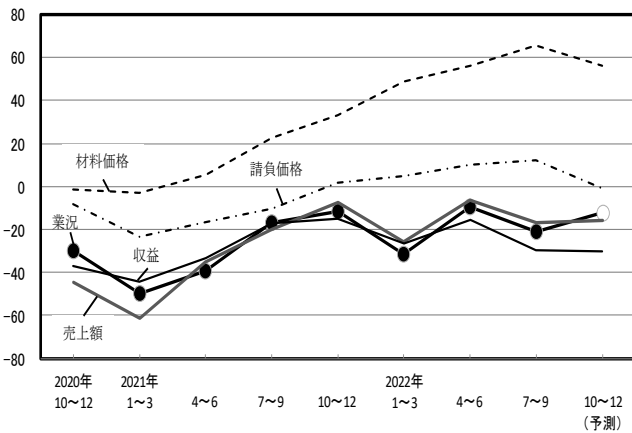
来期について、業況は厳しさが大きく和らぐ見通し。売上額、収益はともに今期同様の減少・減益幅で推移し、受注残は減少幅がやや拡大し、施工高は減少が大きく強まるとみられる。請負価格は上昇から下降に転じ、材料価格は上昇が大きく弱まると予想される。資金繰りは窮屈感がやや強まると見込まれる。



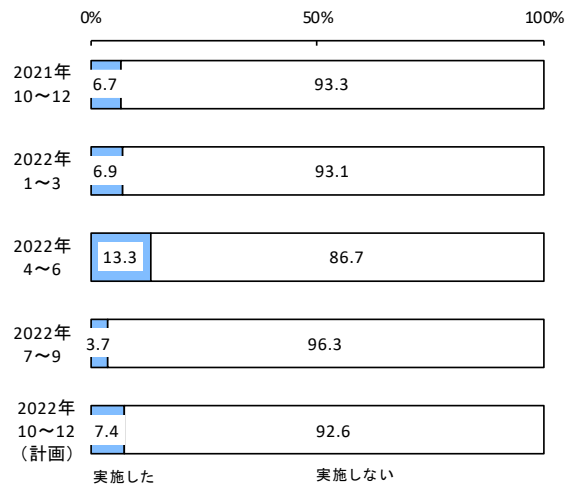
### 豊島区と全都の建設業・業況の動き（実績）と来期の予測



### 売上額、価格、収益の動き（実績）と来期の予測



### 設備投資動向



### 経営上の問題点

	2021年10~12月期		2022年1~3月期		2022年4~6月期		2022年7~9月期	
第1位	材料価格の上昇	32.3 %	材料価格の上昇	44.8 %	材料価格の上昇	63.3 %	材料価格の上昇	69.0 %
第2位	人手不足	29.0 %	売上の停滞・減少	31.0 %	売上の停滞・減少	30.0 %	売上の停滞・減少	34.5 %
第3位	売上の停滞・減少	29.0 %	同業者間の競争の激化	20.7 %	利幅の縮小	26.7 %	利幅の縮小	20.7 %
第4位	同業者間の競争の激化	25.8 %	人手不足	20.7 %	同業者間の競争の激化	20.0 %	同業者間の競争の激化	17.2 %
第5位	利幅の縮小	16.1 %	利幅の縮小	17.2 %	人手不足	13.3 %	人手不足	17.2 %

### 重点経営施策

	2021年10~12月期		2022年1~3月期		2022年4~6月期		2022年7~9月期	
第1位	販路を広げる	54.8 %	販路を広げる	41.4 %	経費を節減する	50.0 %	販路を広げる	48.3 %
第2位	人材を確保する	35.5 %	経費を節減する	37.9 %	販路を広げる	43.3 %	経費を節減する	41.4 %
第3位	経費を節減する	32.3 %	人材を確保する	34.5 %	技術力を高める	23.3 %	情報力を強化する	24.1 %
第4位	技術力を高める	19.4 %	技術力を高める	17.2 %	人材を確保する	20.0 %	人材を確保する	20.7 %
第5位	情報力を強化する	9.7 %	情報力を強化する	10.3 %	情報力を強化する	16.7 %	技術力を高める	17.2 %

# 不動産業

## 業況

業況は悪化に転じた。DIは前期比14.7ポイント減の $\Delta 9.4$ となった。全都との比較では、区が7ポイント下回った。

## 売上額と収益

売上額、収益はともに増加から減少に転じた。DIは売上額が前期比18.0ポイント減の $\Delta 5.4$ 、収益は同26.1ポイント減の $\Delta 6.5$ となった。

## 価格動向

販売価格は上昇がやや弱まり、仕入価格は前期同様の上昇が続いた。DIは販売価格が前期比5.7ポイント減の16.6、仕入価格は同1.4ポイント増の25.0となった。

## 資金繰り・借入金

資金繰りは前期同様の容易さが続き、DIは前期比0.1ポイント増の5.5となった。借入難易度は容易さがやや縮小し、DIは同2.1ポイント減の13.3となった。「借入をした／借入の予定あり」の割合は前期より6.2ポイント減の18.8%となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

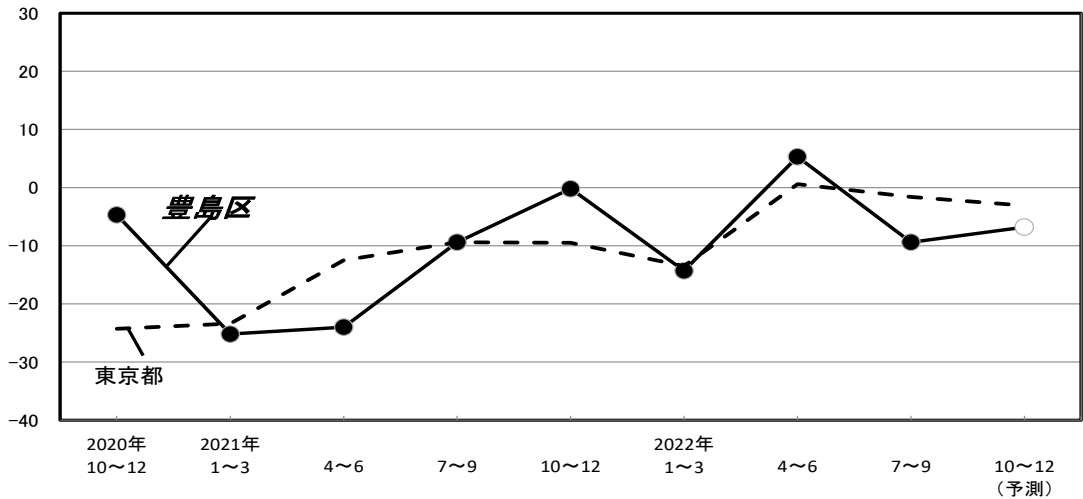
経営上の問題点は、「商品物件の高騰」が43.8%で最も高い。次いで「商品物件の不足」「同業者間の競争の激化」がともに31.3%、「売上の停滞・減少」が25.0%で続いた。

重点経営施策は、「経費を節減する」が56.3%で最も高い。次いで「情報力を強化する」が37.5%、「販路を広げる」が25.0%で続いた。

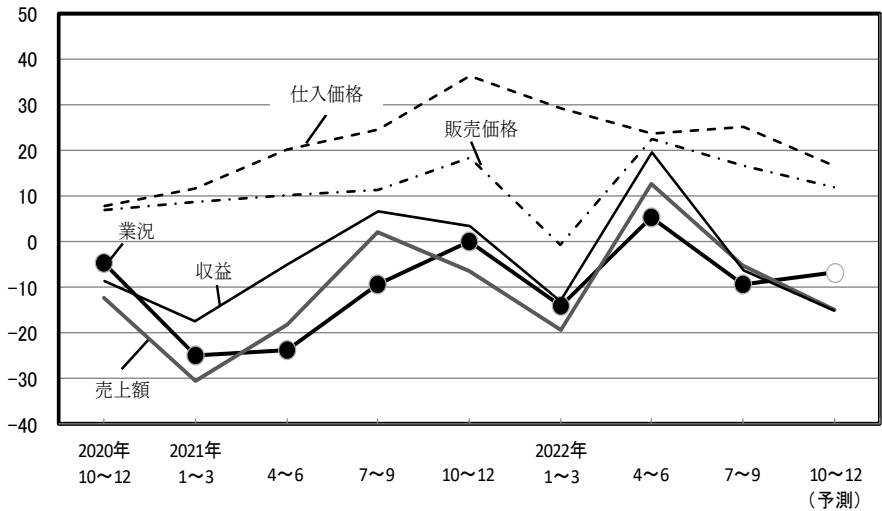
## 来期の見通し

来期について、業況は厳しさがやや和らぐ見通し。売上額、収益はともに減少・減益が大きく強まるとみられる。販売価格は上昇がやや弱まり、仕入価格は上昇幅が大きく縮小すると予想される。資金繰りは容易さがやや増すと見込まれる。

豊島区と全都の不動産業・業況の動き（実績）と来期の予測



売上額、価格、収益の動き（実績）と来期の予測



経営上の問題点

	2021年10~12月期	2022年1~3月期	2022年4~6月期	2022年7~9月期
第1位	商品物件の高騰 37.5 %	商品物件の高騰 50.0 %	商品物件の不足 37.5 %	商品物件の高騰 43.8 %
第2位	同業者間の競争の激化 37.5 %	売上の停滞・減少 37.5 %	商品物件の高騰 31.3 %	商品物件の不足 31.3 %
第3位	商品物件の不足 18.8 %	商品物件の不足 31.3 %	同業者間の競争の激化 31.3 %	同業者間の競争の激化 31.3 %
第4位	利幅の縮小 18.8 %	同業者間の競争の激化 18.8 %	売上の停滞・減少 25.0 %	売上の停滞・減少 25.0 %
第5位	大手企業との競争の激化 18.8 % 売上の停滞・減少 18.8 %	大手企業との競争の激化 18.8 %	利幅の縮小 18.8 %	利幅の縮小 18.8 % 大手企業との競争の激化 18.8 %

重点経営施策

	2021年10~12月期	2022年1~3月期	2022年4~6月期	2022年7~9月期
第1位	販路を広げる 31.3 %	情報力を強化する 50.0 %	情報力を強化する 56.3 %	経費を節減する 56.3 %
第2位	情報力を強化する 25.0 %	販路を広げる 37.5 %	経費を節減する 37.5 %	情報力を強化する 37.5 %
第3位	宣伝・広告を強化する 25.0 %	不動産の有効活用を図る 18.8 %	宣伝・広告を強化する 25.0 %	販路を広げる 25.0 %
第4位	不動産の有効活用を図る 12.5 %	経費を節減する 18.8 %	販路を広げる 18.8 %	不動産の有効活用を図る 18.8 %
第5位	人材を確保する 12.5 %	労働条件を改善する 12.5 %	不動産の有効活用を図る 12.5 %	教育訓練を強化する 12.5 %
	経費を節減する 12.5 %	宣伝・広告を強化する 12.5 %	人材を確保する 12.5 %	宣伝・広告を強化する 12.5 %
	提携先を見つける 12.5 %	人材を確保する 12.5 %		人材を確保する 12.5 %

# 日銀短観

[業況判断] (「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2022年6月調査		2022年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>大企業</b>						
製造業	9	10	8	-1	9	1
非製造業	13	13	14	1	11	-3
全産業	11	11	11	0	11	0
<b>中堅企業</b>						
製造業	0	-3	0	0	-4	-4
非製造業	6	1	7	1	2	-5
全産業	3	0	4	1	0	-4
<b>中小企業</b>						
製造業	-4	-5	-4	0	-5	-1
非製造業	-1	-5	2	3	-3	-5
全産業	-2	-5	0	2	-4	-4
<b>全規模合計</b>						
製造業	1	-1	0	-1	-1	-1
非製造業	4	0	5	1	1	-4
全産業	2	-1	3	1	1	-2

[需給・在庫・価格判断] (%ポイント)

		2022年6月調査		2022年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-10	-11	-10	0	-12	-2
	うち素材業種	-16	-16	-15	1	-17	-2
	加工業種	-7	-8	-7	0	-9	-2
	非製造業	-11	-12	-10	1	-12	-2
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-2	-1	-3	-1	-4	-1
	うち素材業種	-8	-6	-12	-4	-12	0
	加工業種	2	1	2	0	1	-1
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	11		12	1		
	うち素材業種	14		17	3		
	加工業種	8		9	1		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	2		7	5		
	うち素材業種	11		14	3		
	加工業種	-3		3	6		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	35	43	37	2	43	6
	うち素材業種	45	50	45	0	44	-1
	加工業種	29	40	33	4	42	9
	非製造業	21	27	23	2	31	8
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	79	76	77	-2	74	-3
	うち素材業種	78	72	74	-4	69	-5
	加工業種	80	79	80	0	77	-3
	非製造業	58	60	59	1	63	4

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

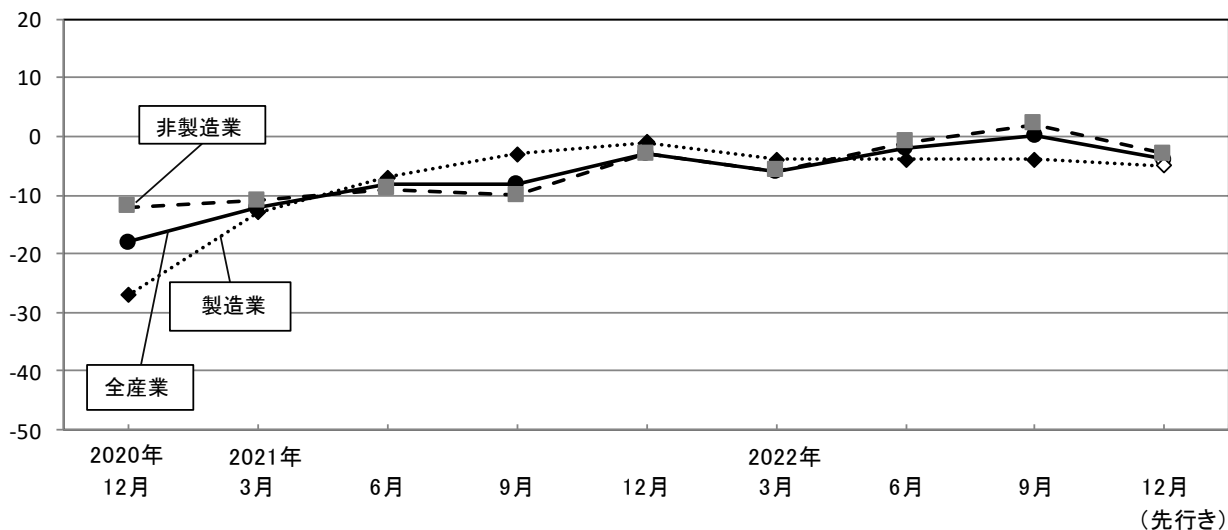
		2021年度			2022年度		
		上期	下期	上期	下期	下期	
円/ドル	2022年6月調査	111.23	109.33	113.13	118.96	118.79	119.12
	2022年9月調査	—	—	—	125.71	124.98	126.43
円/ユーロ	2022年6月調査	128.85	128.36	129.33	131.60	131.55	131.65
	2022年9月調査	—	—	—	134.15	134.01	134.29

[調査対象企業数]

調査対象企業数 (2022年9月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,804社	5,464社	9,268社	99.5%
うち大企業	959社	857社	1,816社	99.6%
中堅企業	1,010社	1,574社	2,584社	99.6%
中小企業	1,835社	3,033社	4,868社	99.4%

[業況判断の推移 (中小企業)]



# 全国の景況

(信金中央金庫 地域・中小企業研究所調べ)

第189回全国中小企業景気動向調査		2022年7~9月期実績・2022年10~12月期見通し
全体	今期の業況判断DIは△17.8で、前期比2.1ポイントの小幅改善と、2四半期続けて改善した。	
業種別	全6業種中、不動産業を除く5業種で改善した。最も改善幅が大きかったのは建設業(6.2ポイント)、次いで卸売業(2.0ポイント)、製造業(1.8ポイント)の順だった。	
地域別	九州北部と南九州を除く9地域で改善した。最も改善幅が大きかったのは、北海道(6.8ポイント)、次いで東北(3.9ポイント)、東海(3.2ポイント)の順だった。	

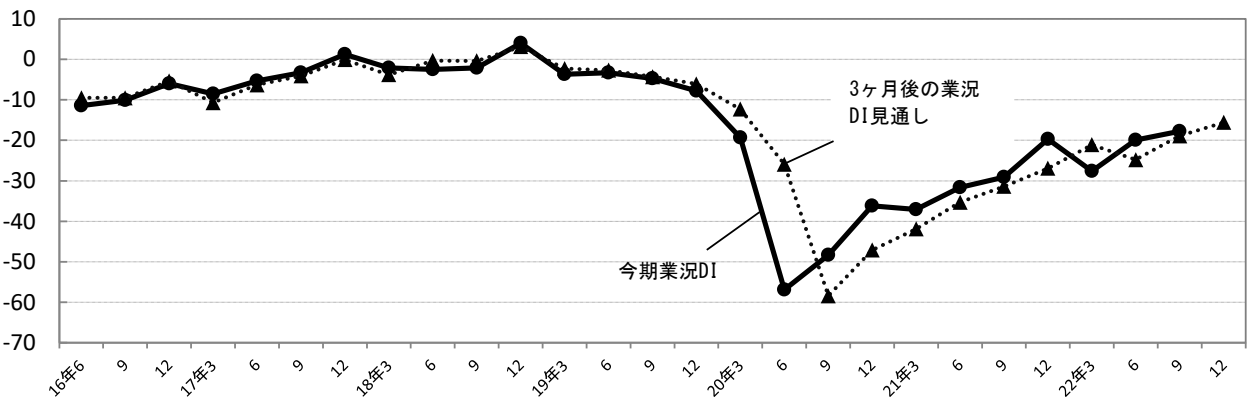
## 【調査の概要】

調査方法	聴き取り調査		
調査期間	対象数	有効回答数	回答率
2022年9月1~7日	15,236社	13,575社	89.1%

※有効回答数のうち従業員数20人未満の企業が占める割合は72.1%

■地域区分：関東は茨城、栃木、群馬、新潟、山梨、長野の6県、首都圏は埼玉、千葉、東京、神奈川の1都3県、東海は岐阜、静岡、愛知、三重の4県、九州北部は福岡、佐賀、長崎の3県、南九州は熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の5県を指す。

## [業況DI (全国)]



## 業種別・地域別の業況DI

	調査年月	東京	全国	北海道	東北	関東	首都圏	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州北部	南九州
		総合	前期 '22/06	-16.6	-19.9	-19.7	-27.1	-15.6	-19.2	-16.9	-24.6	-19.5	-20.2	-25.7
	今期 '22/09	-17.2	-17.8	-12.9	-23.2	-14.1	-16.5	-15.1	-21.4	-19.3	-18.6	-24.6	-14.6	-17.7
	見通し '22/12	-15.2	-15.6	-19.5	-23.2	-13.4	-13.5	-15.0	-16.3	-16.1	-16.2	-21.8	-12.0	-10.2
製造業	前期 '22/06	-17.3	-19.0	-18.0	-26.5	-10.2	-18.7	-14.9	-31.0	-15.7	-23.5	-25.2	-11.3	-10.4
	今期 '22/09	-17.4	-17.2	-8.0	-19.9	-12.1	-18.1	-14.0	-22.6	-17.0	-16.4	-23.5	-15.5	-20.6
	見通し '22/12	-15.5	-13.4	-13.5	-22.0	-10.0	-14.4	-8.1	-11.6	-13.4	-13.6	-20.2	-3.7	-15.3
卸売業	前期 '22/06	-17.9	-24.9	-30.4	-29.7	-13.5	-21.2	-18.6	-27.3	-28.1	-13.1	-36.8	-24.4	-32.7
	今期 '22/09	-18.1	-22.9	-19.9	-32.2	-11.1	-12.1	-23.3	-28.6	-29.9	-26.3	-30.9	-26.3	-25.7
	見通し '22/12	-16.8	-19.2	-16.6	-34.7	-11.9	-10.7	-20.9	-22.4	-24.6	-26.3	-21.8	-18.4	-11.9
小売業	前期 '22/06	-27.9	-32.6	-36.1	-46.5	-30.6	-27.8	-29.3	-35.9	-34.7	-33.3	-40.3	-15.8	-37.6
	今期 '22/09	-28.0	-32.2	-22.7	-45.2	-34.0	-32.3	-31.3	-34.7	-32.3	-40.8	-45.9	-18.8	-26.9
	見通し '22/12	-25.9	-29.9	-36.1	-43.2	-32.6	-27.0	-32.2	-33.1	-23.3	-31.1	-47.5	-23.9	-19.4
サービス業	前期 '22/06	-19.1	-23.2	-19.2	-29.5	-19.4	-25.0	-26.9	-19.6	-19.0	-20.5	-34.7	-34.0	-18.8
	今期 '22/09	-21.6	-21.5	-26.3	-28.9	-9.3	-17.0	-24.2	-21.2	-21.6	-18.3	-34.0	-27.8	-31.5
	見通し '22/12	-17.5	-20.9	-29.5	-33.3	-12.1	-15.0	-27.5	-16.3	-26.1	-12.2	-30.0	-25.3	-23.4
建設業	前期 '22/06	-4.5	-10.6	-2.3	-12.3	-18.5	-11.3	-7.9	-12.2	-13.9	-13.1	-12.3	-1.7	-4.8
	今期 '22/09	-4.2	-4.4	1.8	-2.6	-11.1	-6.3	10.0	-6.5	-7.8	0.0	-4.7	-9.0	1.5
	見通し '22/12	-1.7	-3.3	-7.7	2.6	-11.1	-2.9	7.0	-8.7	-5.5	0.0	-6.3	-5.4	12.3
不動産業	前期 '22/06	0.6	-1.9	-3.6	-11.0	-3.7	-1.7	2.0	-1.5	-3.5	-9.7	0.0	9.5	5.6
	今期 '22/09	-1.6	-2.0	-3.6	-9.7	-2.5	1.8	-4.9	-5.2	-5.2	-10.0	-7.3	12.5	5.6
	見通し '22/12	-3.1	-4.4	-12.5	-5.6	0.0	0.4	-16.4	-5.9	-5.8	-18.3	-2.4	0.0	2.8

# 東京都・豊島区の倒産動向

出典：(株) 東京商工リサーチ

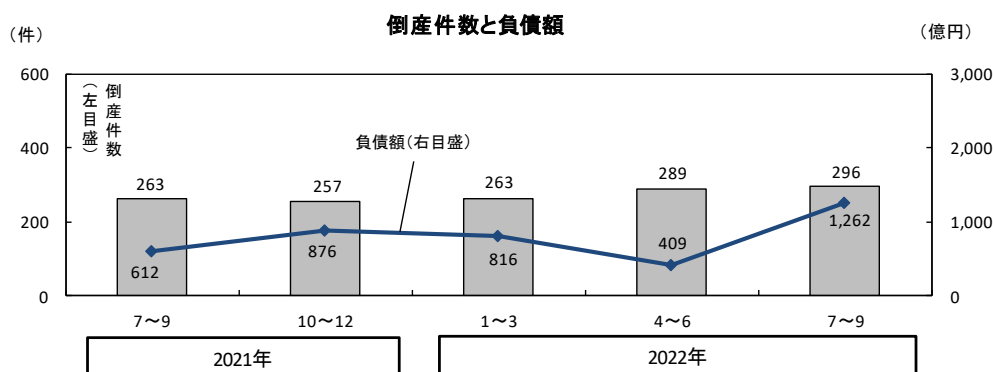
## 「東京都」の企業倒産動向について(2022年7～9月)

### 1. 概況

東京都内の企業倒産は、件数は296件、負債額合計は1,262億2,600万円となった。件数は前期比2.4%増、前年同期比12.5%増となった。負債額合計は前期比208.4%増、前年同期比106.2%増となった。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率)	前年同期比(伸び率)
	2021年7～9月	2022年4～6月	2022年7～9月		
件数(単位:件)	263	289	296	2.4%	12.5%
負債額(単位:百万円)	61,225	40,927	126,226	208.4%	106.2%



### 2. 原因別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率)	前年同期比(伸び率)
	2021年7～9月	2022年4～6月	2022年7～9月		
放漫経営	26	16	24	50.0%	-7.7%
過小資本	4	2	4	100.0%	0.0%
他社倒産の余波	16	34	31	-8.8%	93.8%
既往のシワ寄せ	28	26	29	11.5%	3.6%
販売不振	178	200	195	-2.5%	9.6%
売掛金等回収難	2	3	2	-33.3%	0.0%
信用性低下	1	1	1	0.0%	0.0%
在庫状態悪化	0	0	0	-	-
設備投資過大	1	0	3	-	200.0%
その他	7	7	7	0.0%	0.0%
合計	263	289	296	2.4%	12.5%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率)	前年同期比(伸び率)
	2021年7～9月	2022年4～6月	2022年7～9月		
放漫経営	20,275	1,712	17,665	931.8%	-12.9%
過小資本	2,727	113	481	325.7%	-82.4%
他社倒産の余波	3,006	15,474	32,667	111.1%	986.7%
既往のシワ寄せ	6,058	4,365	5,926	35.8%	-2.2%
販売不振	25,968	18,506	33,422	80.6%	28.7%
売掛金等回収難	2,002	208	294	41.3%	-85.3%
信用性低下	50	20	30	50.0%	-40.0%
在庫状態悪化	0	0	0	-	-
設備投資過大	750	0	5,500	-	633.3%
その他	389	529	30,241	5616.6%	7674.0%
合計	61,225	40,927	126,226	208.4%	106.2%

### 3. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期 2021年7~9月	前期 2022年4~6月	当期		
			2022年7~9月	前期比(伸び率)	前年同期比(伸び率)
製造業	19	21	25	19.0%	31.6%
卸売業	52	50	48	-4.0%	-7.7%
小売業	28	32	37	15.6%	32.1%
サービス業	58	77	61	-20.8%	5.2%
建設業	24	31	40	29.0%	66.7%
不動産業	15	16	11	-31.3%	-26.7%
情報通信業・運輸業	41	26	40	53.8%	-2.4%
宿泊業・飲食サービス業	14	20	15	-25.0%	7.1%
その他	12	16	19	18.8%	58.3%
合計	263	289	296	2.4%	12.5%

負債額 (単位:百万円)	前年同期 2021年7~9月	前期 2022年4~6月	当期		
			2022年7~9月	前期比(伸び率)	前年同期比(伸び率)
製造業	7,544	3,412	2,905	-14.9%	-61.5%
卸売業	14,150	9,014	34,124	278.6%	141.2%
小売業	5,057	1,995	10,795	441.1%	113.5%
サービス業	17,738	17,561	13,153	-25.1%	-25.8%
建設業	2,892	2,884	4,099	42.1%	41.7%
不動産業	1,560	1,075	1,928	79.3%	23.6%
情報通信業・運輸業	6,201	969	19,895	1953.1%	220.8%
宿泊業・飲食サービス業	1,993	757	637	-15.9%	-68.0%
その他	4,090	3,260	38,690	1086.8%	846.0%
合計	61,225	40,927	126,226	208.4%	106.2%

### 4. 主な倒産（負債額上位3社）

(負債単位:百万円)

企業名	所在地	業種	負債額
神明畜産(株)	東久留米市	畜産業	29,456
(株)肉の神明	東久留米市	食肉卸、小売	20,804
日本ロジステック(株)	千代田区	倉庫、運輸業	15,103

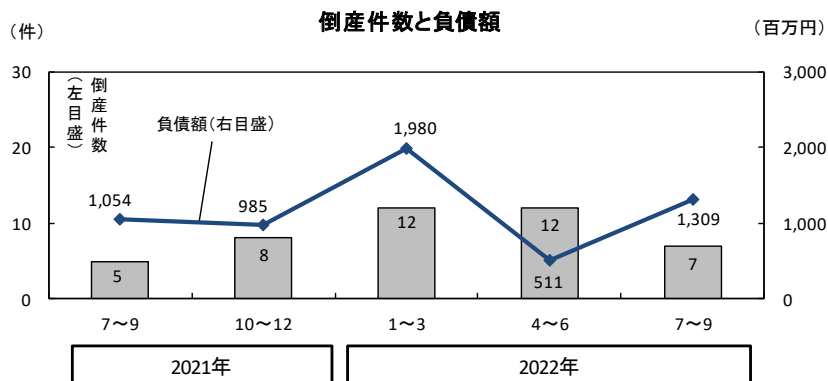
# 「豊島区」の企業倒産動向について(2022年7～9月)

## 1. 概況

豊島区内の企業倒産は7件（前期比41.7%減、前年同期比40.0%増）、負債総額は13億900万円（同156.2%増、同24.2%増）となった。業種別では、卸売業で件数・負債総額ともに前期比増となった。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2021年7～9月	2022年4～6月	2022年7～9月		
件数(単位:件)	5	12	7	-41.7%	40.0%
負債額(単位:百万円)	1,054	511	1,309	156.2%	24.2%



## 2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2021年7～9月	2022年4～6月	2022年7～9月		
製造業	1	0	0	-	-100.0%
卸売業	1	1	2	100.0%	100.0%
小売業	1	0	2	-	100.0%
サービス業	1	8	2	-75.0%	100.0%
建設業	0	0	0	-	-
不動産業	0	1	1	0.0%	-
情報通信業・運輸業	0	1	0	-100.0%	-
宿泊業・飲食サービス業	1	1	0	-100.0%	-100.0%
その他	0	0	0	-	-
合計	5	12	7	-41.7%	40.0%

負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
	2021年7～9月	2022年4～6月	2022年7～9月		
製造業	31	0	0	-	-100.0%
卸売業	300	16	130	712.5%	-56.7%
小売業	10	0	749	-	7390.0%
サービス業	33	435	50	-88.5%	51.5%
建設業	0	0	0	-	-
不動産業	0	20	380	1800.0%	-
情報通信業・運輸業	0	20	0	-100.0%	-
宿泊業・飲食サービス業	680	20	0	-100.0%	-100.0%
その他	0	0	0	-	-
合計	1,054	511	1,309	156.2%	24.2%



### 3. 地域別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期 2021年7～9月	前期 2022年4～6月	当期 2022年7～9月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
駒込	1	0	0	-	-100.0%
巣鴨	1	0	0	-	-100.0%
西巣鴨	0	0	0	-	-
北大塚	1	0	0	-	-100.0%
南大塚	0	1	1	0.0%	-
上池袋	0	0	0	-	-
東池袋	1	5	1	-80.0%	0.0%
南池袋	0	0	0	-	-
西池袋	0	4	1	-75.0%	-
池袋	1	2	1	-50.0%	0.0%
池袋本町	0	0	0	-	-
雑司が谷	0	0	0	-	-
高田	0	0	0	-	-
目白	0	0	3	-	-
南長崎	0	0	0	-	-
長崎	0	0	0	-	-
千早	0	0	0	-	-
要町	0	0	0	-	-
高松	0	0	0	-	-
千川	0	0	0	-	-
合計	5	12	7	-41.7%	40.0%
負債額 (単位:百万円)	前年同期 2021年7～9月	前期 2022年4～6月	当期 2022年7～9月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
駒込	33	0	0	-	-100.0%
巣鴨	31	0	0	-	-100.0%
西巣鴨	0	0	0	-	-
北大塚	10	0	0	-	-100.0%
南大塚	0	234	40	-82.9%	-
上池袋	0	0	0	-	-
東池袋	680	140	10	-92.9%	-98.5%
南池袋	0	0	0	-	-
西池袋	0	82	30	-63.4%	-
池袋	300	55	380	590.9%	26.7%
池袋本町	0	0	0	-	-
雑司が谷	0	0	0	-	-
高田	0	0	0	-	-
目白	0	0	849	-	-
南長崎	0	0	0	-	-
長崎	0	0	0	-	-
千早	0	0	0	-	-
要町	0	0	0	-	-
高松	0	0	0	-	-
千川	0	0	0	-	-
合計	1,054	511	1,309	156.2%	24.2%

### 4. 主な倒産(負債額上位3社)

(負債単位:百万円)

企業名	業種	負債額
(株)ノイバンシュタイン	婦人服販売	699
(株)アイラック	不動産売買	380
(株)オリエンタルベリー	紙製品ほか販売	100

# 東京都・豊島区の新設法人

出典：(株) 東京商工リサーチ

※新設法人数はデータ収集の関係により1四半期前の情報を掲載

## 「東京都」の新設法人について(2022年4～6月)

### 1. 概況

2022年4～6月の東京都内の新設法人数は10,614件で、前期比1.2%減、前年同期比4.3%減となった。業種別では、建設業が前期比12.5%増となった。

### 2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2021年4～6月	2022年1～3月	2022年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	707	646	691	7.0%	-2.3%
卸売業	421	378	420	11.1%	-0.2%
小売業	842	738	773	4.7%	-8.2%
サービス業	3,611	3,475	3,523	1.4%	-2.4%
建設業	524	423	476	12.5%	-9.2%
不動産業	1,145	1,055	976	-7.5%	-14.8%
情報通信業・運輸業	1,953	1,951	1,928	-1.2%	-1.3%
宿泊業・飲食サービス業	667	667	671	0.6%	0.6%
その他	1,220	1,415	1,156	-18.3%	-5.2%
合計	11,090	10,748	10,614	-1.2%	-4.3%

## 「豊島区」の新設法人について(2022年4～6月)

### 1. 概況

2022年4～6月の豊島区内の新設法人数は337件で、前期比4.0%減、前年同期比0.3%増となった。業種別では、製造業が前期比31.6%増となった。地域別では、南大塚、上池袋、池袋本町、千早で、前期比・前年同期比ともに増となった。

### 2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2021年4～6月	2022年1～3月	2022年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	21	19	25	31.6%	19.0%
卸売業	20	23	27	17.4%	35.0%
小売業	34	28	34	21.4%	0.0%
サービス業	107	112	114	1.8%	6.5%
建設業	15	12	7	-41.7%	-53.3%
不動産業	28	28	28	0.0%	0.0%
情報通信業・運輸業	70	66	58	-12.1%	-17.1%
宿泊業・飲食サービス業	27	29	26	-10.3%	-3.7%
その他	14	34	18	-47.1%	28.6%
合計	336	351	337	-4.0%	0.3%

### 3. 地域別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2021年4～6月	前期 2022年1～3月	当期 2022年4～6月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
駒込	11	11	10	-9.1%	-9.1%
巣鴨	24	19	13	-31.6%	-45.8%
西巣鴨	7	5	3	-40.0%	-57.1%
北大塚	9	19	16	-15.8%	77.8%
南大塚	26	21	34	61.9%	30.8%
上池袋	8	8	13	62.5%	62.5%
東池袋	92	85	89	4.7%	-3.3%
南池袋	20	28	22	-21.4%	10.0%
西池袋	25	29	20	-31.0%	-20.0%
池袋	53	49	53	8.2%	0.0%
池袋本町	6	7	10	42.9%	66.7%
雑司が谷	6	7	2	-71.4%	-66.7%
高田	6	16	11	-31.3%	83.3%
目白	16	12	7	-41.7%	-56.3%
南長崎	8	8	8	0.0%	0.0%
長崎	8	13	7	-46.2%	-12.5%
千早	3	3	6	100.0%	100.0%
要町	3	5	5	0.0%	66.7%
高松	3	6	5	-16.7%	66.7%
千川	2	0	3	0.0%	50.0%
合計	336	351	337	-4.0%	0.3%

### 4. 代表者性別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2021年4～6月	前期 2022年1～3月	当期 2022年4～6月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
男性	289	291	275	-5.5%	-4.8%
女性	46	60	61	1.7%	32.6%
法人代表	1	0	1	0.0%	0.0%
不明	0	0	0	0.0%	0.0%
合計	336	351	337	-4.0%	0.3%

# 特別調査「中小企業におけるSDGs(持続可能な開発目標)の取組状況について」

## 問1. SDGsの認知度・情報源

※網掛け部分は全体平均以上を示す

(%)	認知度				情報源					
	内容までよく知っている	意味はある程度わかる	名前しか知らない	聞いたことがない	報道機関(テレビ、新聞等)	国・地方自治体	商工会、商工会議所	同業者団体(元請け含む)	金融機関	聞いたことがない
全体	16.7	60.6	17.7	4.4	84.7	4.9	1.5	1.5	1.5	4.9
製造業	21.3	59.6	10.6	6.4	80.9	4.3	-	4.3	-	10.6
卸売業	38.5	53.8	-	7.7	84.6	7.7	-	-	-	7.7
小売業	16.3	51.0	32.7	-	93.9	-	2.0	-	-	2.0
サービス業	14.3	61.2	18.4	6.1	79.6	8.2	2.0	2.0	4.1	4.1
建設業	10.3	65.5	17.2	6.9	82.8	6.9	3.4	-	-	3.4
不動産業	6.3	87.5	6.3	-	87.5	6.3	-	-	6.3	-

SDGsの認知度については、全体では「意味はある程度わかる」が60.6%で最も高く、次いで「名前しか知らない」が17.7%、「内容までよく知っている」が16.7%であった。

業種別では、全ての業種で「意味はある程度わかる」が半数を超え、最も高い。これに次いで、小売業では「名前しか知らない」が3割強、製造業、卸売業では「内容までよく知っている」が2割強、4割弱で続いている。

SDGsの情報源については、全体では「報道機関(テレビ、新聞等)」が84.7%で最も高く、次いで「国・地方自治体」が4.9%であった。

業種別では、全ての業種で「報道機関(テレビ、新聞等)」が7割を超えて最も高く、他の項目を大きく引き離している。

## 問2. SDGsに関する取組施策

※網掛け部分は全体平均以上を示す

(%)	省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用	再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減等	水使用量削減、排水管理	ペーパーレス化、緑化・植林	グリーン調達、カーボンオフセット等	女性や高齢者、外国人等の多様な人材の雇用	研修の充実、働き方改革の実施	フェアトレード、途上国支援	防犯、防災、寄付、まちづくり	取組みはしていない
全体	53.9	19.6	5.9	11.8	2.9	5.9	7.4	-	12.7	29.9
製造業	52.1	25.0	4.2	20.8	6.3	4.2	10.4	-	12.5	25.0
卸売業	76.9	38.5	15.4	7.7	7.7	15.4	7.7	-	15.4	23.1
小売業	61.2	26.5	4.1	10.2	2.0	-	4.1	-	10.2	28.6
サービス業	38.8	10.2	10.2	-	-	8.2	8.2	-	12.2	40.8
建設業	55.2	13.8	3.4	17.2	3.4	10.3	6.9	-	10.3	31.0
不動産業	62.5	6.3	-	18.8	-	6.3	6.3	-	25.0	18.8

SDGsに関する取組施策については、全体では「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」が53.9%で最も高く、次いで「再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減等」が19.6%、「防犯、防災、寄付、まちづくり」が12.7%であった。なお、「取組みはしていない」は29.9%となっている。

業種別では、全ての業種で「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」が最も高く、これに次いで、製造業、卸売業、小売業では「再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減等」が、サービス業、不動産業では「防犯、防災、寄付、まちづくり」が、建設業では「ペーパーレス化、緑化・植林」が、それぞれ続いた。サービス業では「取組みはしていない」が40.8%で比較的高い割合となった。

## 問3. SDGsの取組についての印象

※網掛け部分は全体平均以上を示す

(%)	コスト削減につながる	新規顧客が獲得できる	取組まないと取引が切られる	従業員の士気向上、採用容易化につながる	自社が取組むには経営資源が不足	コスト増になる	自社には関係がない	本業がおろそかになる	その他	よくわからない
全体	46.6	6.9	1.0	8.3	9.8	11.3	4.4	3.4	0.5	26.5
製造業	43.8	2.1	-	10.4	12.5	14.6	2.1	6.3	-	27.1
卸売業	53.8	15.4	7.7	15.4	15.4	15.4	7.7	15.4	-	7.7
小売業	53.1	2.0	-	6.1	6.1	10.2	6.1	2.0	-	26.5
サービス業	38.8	16.3	2.0	6.1	12.2	10.2	2.0	2.0	2.0	28.6
建設業	44.8	3.4	-	10.3	6.9	10.3	3.4	-	-	34.5
不動産業	56.3	6.3	-	6.3	6.3	6.3	12.5	-	-	18.8

SDGs の取組についての印象では、全体では「コスト削減につながる」が 46.6%で最も高く、次いで「コスト増になる」が 11.3%、「自社が取組むには経営資源が不足」が 9.8%となった。なお「よくわからない」が 26.5%であった。

業種別では、全ての業種で「コスト削減につながる」が最も高く、4割弱から5割半ばとなった。卸売業では「新規顧客が獲得できる」「本業がおろそかになる」がともに1割半ば、サービス業では「新規顧客が獲得できる」が1割半ば、不動産業では「自社には関係がない」が1割強と比較的高い割合となった。

#### 問 4. カーボンニュートラルに関する取組施策

※網掛け部分は全体平均以上を示す

(%)	こまめな電源オフなど電気使用量の削減	カーボンニュートラルに繋がる商品の開発	ごみの削減やリサイクルの推進	電気自動車等、ガソリン車以外の導入	太陽光発電等、再生可能エネルギーの導入	環境負荷の少ない原材料等の利用	温室効果ガスに関する行動目標の設定	脱炭素に関する研究や勉強会の実施	その他	取組んでいない
全体	67.2	2.0	29.4	2.5	2.0	5.9	-	-	-	24.5
製造業	66.7	4.2	37.5	4.2	-	14.6	-	-	-	25.0
卸売業	69.2	15.4	38.5	-	7.7	15.4	-	-	-	15.4
小売業	63.3	-	24.5	-	2.0	4.1	-	-	-	30.6
サービス業	71.4	-	20.4	2.0	-	-	-	-	-	24.5
建設業	69.0	-	31.0	6.9	3.4	3.4	-	-	-	17.2
不動産業	62.5	-	37.5	-	6.3	-	-	-	-	25.0

カーボンニュートラルに関する取組施策については、全体では「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」が 67.2%で最も高く、次いで「ごみの削減やリサイクルの推進」が 29.4%、「環境負荷の少ない原材料等の利用」が 5.9%であった。なお「取組んでいない」は 24.5%であった。

業種別では、全ての業種で「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」が6割を超え最も高く、次いで「ごみの削減やリサイクルの推進」が2割台から3割台となった。

#### 問 5. SDGs について期待するサポート

※網掛け部分は全体平均以上を示す

(%)	経営者向け研修	従業員向け研修	自社取組みの認知度向上	省エネ対応	各種認証制度取得	働き方改革などの人事制度改定	多様な人材の雇用	資金調達	その他	利用したい支援はない
全体	13.7	6.9	4.9	27.9	2.9	8.3	3.4	7.4	1.0	48.0
製造業	18.8	4.2	6.3	31.3	4.2	6.3	2.1	4.2	-	45.8
卸売業	-	7.7	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7	46.2
小売業	10.2	2.0	-	32.7	-	8.2	2.0	6.1	-	55.1
サービス業	8.2	4.1	2.0	18.4	-	4.1	6.1	12.2	2.0	57.1
建設業	27.6	20.7	6.9	31.0	-	6.9	3.4	6.9	-	34.5
不動産業	12.5	12.5	18.8	31.3	18.8	31.3	-	-	-	31.3

SDGs について期待するサポートでは、全体では「省エネ対応」が 27.9%で最も高く、次いで「経営者向け研修」が 13.7%、「働き方改革などの人事制度改定」が 8.3%であった。なお「利用したい支援はない」は 48.0%であった。

業種別では、全ての業種で「省エネ対応」が最も高く、不動産業では「働き方改革などの人事制度改定」も同率（31.3%）で最も高くなった。建設業では「経営者向け研修」「従業員向け研修」がともに2割を超え、比較的高い割合となった。小売業、サービス業では「利用したい支援はない」がともに5割を超えた。

## 中小企業景況調査比較表

製造業 [2022年7~9月期]

### [今期の景況]

	全体		出版、印刷、製版、製 本業		一般、金型、電気、輸 送、精密機械	
	豊島区	全都	豊島区	全都	豊島区	全都
業況	-23	-17	-47	-32	-13	-7
売上額	-23	-8	-62	-23	-9	0
受注残	-9	-7	-47	-19	1	2
収益	-23	-15	-53	-26	-3	-6
販売価格	3	16	-7	3	14	17
原材料価格	41	51	12	41	32	53
原材料在庫	1	-3	-6	2	8	-4
資金繰り	-12	-11	-47	-15	-9	-7
雇用						
残業時間	-6	-4	-25	-11	0	-1
人手	0	-9	17	-2	-9	-11
同期比						
売上額	-17	-4	-58	-19	-9	3
収益	-25	-14	-58	-28	0	-6
経営上の問題点						
① 売上の停滞・減少	44	40	50	58	36	36
② 原材料高	33	39	17	32	9	41
③ 仕入先からの値上げ要請	27	15	8	12	27	13
④ 同業者間の競争の激化	17	18	-	25	27	17
⑤ 利幅の縮小	15	16	8	20	9	16
重点経営施策						
① 経費を節減する	48	45	50	49	55	41
② 販路を広げる	42	53	17	62	36	53
③ 情報力を強化する	17	13	17	18	9	12
④ 提携先を見つける	10	6	-	4	27	7
⑤ 不採算部門を整理・縮小する	10	4	17	4	9	3
借入の難易度	13	-4	10	-10	0	2

### [来期の景況見通し]

業況	-25	-16	-44	-29	-10	-3
売上額	-11	-8	-43	-18	-8	-1
受注残	-7	-7	-31	-14	-1	0
収益	-16	-14	-31	-20	-19	-7
販売価格	2	13	-1	4	13	16
原材料価格	37	45	10	39	39	48
原材料在庫	0	-4	-5	0	8	-6
資金繰り	-14	-12	-47	-17	-7	-9
雇用						
残業時間	-10	-3	-25	-8	0	-1
人手	0	-10	17	-4	-9	-11

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 卸売業 [2022年7~9月期]

### [今期の景況]

		全体	
		豊島区	全都
業況		-10	-18
売上額		3	-5
収益		-2	-13
販売価格		36	30
仕入価格		66	53
在庫		8	2
資金繰り		3	-11
雇 用	残業時間	0	-3
	人手	0	-8
同 期 比	売上額	15	2
	収益	0	-12
		23	38
経 営 上 の 問 題 点	① 仕入先からの値上げ要請	54	27
	② 売上の停滞・減少	39	43
	③ 同業者間の競争の激化	31	24
	④ 為替レートの変動	23	9
	⑤ 利幅の縮小	23	25
重 点 経 営 施 策	① 販路を広げる	69	59
	② 経費を節減する	39	47
	③ 人材を確保する	23	11
	④ 情報力を強化する	23	20
	⑤ 品揃えを充実する	15	15
借入の難易度		30	0

### [来期の景況見通し]

業況		-27	-17
売上額		-16	-2
収益		-24	-12
販売価格		32	28
仕入価格		59	49
在庫		4	1
資金繰り		-2	-10
雇 用	残業時間	0	-1
	人手	-15	-8

- \* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度
- \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 小売業 [2022年7~9月期]

### [今期の景況]

	全体		飲食店		飲食料品		衣服、呉服、身の回り品	
	豊島区	全都	豊島区	全都	豊島区	全都	豊島区	全都
業況	-31	-28	-58	-36	-29	-25	-11	-43
売上額	-25	-20	-54	-29	-27	-15	18	-28
収益	-25	-26	-44	-39	-23	-24	-3	-31
販売価格	10	13	0	13	14	18	4	4
仕入価格	20	34	23	53	19	36	34	21
在庫	3	-1	-29	-1	-4	0	52	2
資金繰り	-21	-18	-29	-23	-15	-18	-2	-25
雇用								
残業時間	0	-4	0	-12	6	-4	0	-5
人手	-6	-8	-22	-10	0	-9	-25	-4
同期比								
売上額	-16	-15	-44	-20	-12	-15	25	-23
収益	-22	-23	-56	-31	-12	-23	0	-27
販売価格	18	16	22	14	18	21	0	7
経営上の問題点								
① 売上の停滞・減少	41	43	56	56	41	42	50	51
② 仕入先からの値上げ要請	31	21	33	34	41	23	-	12
③ 商店街の集客力の低下	25	13	33	16	18	14	50	20
④ 同業者間の競争の激化	20	20	33	15	-	19	-	12
⑤ 大型店との競争の激化	18	19	-	7	29	23	-	19
重点経営施策								
① 経費を節減する	55	46	56	58	65	47	25	37
② 品揃えを改善する	29	25	11	12	29	28	25	30
③ 宣伝・広告を強化する	25	19	44	20	18	17	25	22
④ 商店街事業を活性化させる	16	13	22	16	6	13	25	16
⑤ 売れ筋商品を取り扱う	16	16	11	9	29	20	-	13
借入の難易度	-5	-5	-14	-12	-8	-4	0	-9

### [来期の景況見通し]

業況	-30	-26	-47	-35	-34	-22	-2	-41
売上額	-14	-17	-24	-24	-13	-14	4	-27
収益	-19	-22	-43	-30	-11	-21	0	-27
販売価格	9	13	-9	12	16	20	4	1
仕入価格	22	32	20	49	24	36	32	17
在庫	4	-2	-29	-3	2	-3	48	1
資金繰り	-16	-16	-21	-23	-10	-16	1	-24
雇用								
残業時間	-2	-3	0	-8	0	-2	0	-4
人手	-8	-8	-25	-9	0	-9	-25	-4

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策



## サービス業 [2022年7~9月期]

### [今期の景況]

	全体		理容業		洗濯業		美容業	
	豊島区	全都	豊島区	全都	豊島区	全都	豊島区	全都
業況	-33	-22	-23	-30	-59	-46	-28	-35
売上額	-17	-10	-11	-24	-44	-32	-25	-22
収益	-19	-17	-19	-28	-44	-41	-28	-24
料金価格	4	8	1	1	16	11	0	2
材料価格	30	34	15	26	67	52	36	31
資金繰り	-11	-12	-8	-12	-38	-27	-23	-20
雇用								
残業時間	-8	-3	0	-4	-33	-5	0	-10
人手	-14	-17	-18	-6	0	-6	20	-6
同期比								
売上額	-20	-7	-18	-19	-50	-26	-20	-12
収益	-20	-15	-18	-25	-50	-37	-20	-17
経営上の問題点								
① 売上の停滞・減少	43	40	46	44	83	53	20	37
② 同業者間の競争の激化	27	26	27	31	17	34	40	39
③ 材料価格の上昇	25	21	9	14	33	29	80	20
④ 取引先の減少	16	8	18	7	-	8	20	8
⑤ 人手不足	16	21	18	6	-	10	-	10
重点経営施策								
① 経費を節減する	43	42	46	39	67	54	40	32
② 販路を広げる	37	41	9	17	33	44	-	27
③ 宣伝・広告を強化する	29	20	27	26	50	30	20	29
④ 技術力を強化する	25	11	27	12	-	4	20	16
⑤ 人材を確保する	14	20	9	4	-	5	-	13
借入の難易度	-3	-5	0	-4	0	-17	0	-20

### [来期の景況見通し]

業況	-29	-18	-20	-26	-39	-42	-28	-29
売上額	-9	-6	-1	-15	-9	-24	-31	-22
収益	-15	-13	-10	-19	-10	-33	-31	-23
料金価格	6	7	-1	0	16	10	0	4
材料価格	28	32	14	26	57	46	38	26
資金繰り	-8	-11	-7	-12	-33	-29	-23	-20
雇用								
残業時間	-4	-3	0	-3	0	-8	0	-4
人手	-14	-17	-18	-5	0	-7	20	-6

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 建設業 [2022年7~9期]

### [今期の景況]

	全体		
	豊島区	全都	
業況	-21	-4	
売上額	-17	-1	
受注残	-13	1	
施工高	-2	4	
収益	-30	-15	
請負価格	12	13	
材料価格	66	60	
在庫	-6	-5	
資金繰り	-1	-6	
雇 残業時間	-17	-3	
用 人手	-21	-24	
同 売上額	-17	-2	
期 収益	-21	-16	
比			
経営上の問題点	① 材料価格の上昇	69	58
	② 売上の停滞・減少	35	28
	③ 利幅の縮小	21	18
	④ 同業者間の競争の激化	17	23
	⑤ 人手不足	17	30
重点経営施策	① 販路を広げる	48	39
	② 経費を節減する	41	46
	③ 情報力を強化する	24	17
	④ 人材を確保する	21	33
	⑤ 技術力を高める	17	20
借入の難易度	8	3	

### [来期の景況見通し]

業況	-12	-2
売上額	-16	2
受注残	-16	2
施工高	-11	5
収益	-30	-12
請負価格	-1	13
材料価格	56	55
在庫	-8	-5
資金繰り	-3	-5
雇 残業時間	-14	-2
用 人手	-24	-26

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 不動産業 [2022年7~9月期]

### [今期の景況]

		全体	
		豊島区	全都
業況		-9	-2
売上額		-5	-2
収益		-7	-1
販売価格		17	18
仕入価格		25	30
在庫		-26	-14
資金繰り		6	2
雇用	残業時間	0	-5
	人手	-6	-7
同期比	売上額	0	1
	収益	-6	1
経営上の問題点	① 商品物件の高騰	44	26
	② 商品物件の不足	31	32
	③ 同業者間の競争の激化	31	30
	④ 売上の停滞・減少	25	21
	⑤ 利幅の縮小	19	14
重点経営施策	① 経費を節減する	56	29
	② 情報力を強化する	38	39
	③ 販路を広げる	25	32
	④ 不動産の有効活用を図る	19	12
	⑤ 教育訓練を強化する	13	3
借入の難易度		13	5

### [来期の景況見通し]

業況		-7	-3
売上額		-15	-3
収益		-15	-2
販売価格		12	17
仕入価格		17	26
在庫		-25	-13
資金繰り		8	2
雇用	残業時間	0	-3
	人手	-13	-7

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 中小企業景況調査 転記表

## 製造業 [2022年7~9月期]

項目	調査期		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対前期比	2022年 10月~12月期
	10月~12月期	1月~3月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期					
業況	良	3.9	4.0	4.3	6.1	2.0	4.3	4.1	2.0	8.3	4.2	6.4	6.7	6.3	4.3	10.4	4.2		4.3	
	普通	41.2	46.0	38.3	40.8	52.0	41.3	53.0	50.0	54.2	62.5	51.0	62.2	56.2	60.9	56.3	62.5		68.0	
	悪	54.9	50.0	57.4	53.1	46.0	54.4	42.9	48.0	37.5	33.3	42.6	31.1	37.5	34.8	33.3	33.3		27.7	
	D・I	-51.0	-46.0	-53.1	-47.0	-44.0	-50.1	-38.8	-46.0	-29.2	-29.1	-36.2	-24.4	-31.2	-30.5	-22.9	-29.1		-23.4	
	修正値	<b>-49.3</b>	<b>-45.5</b>	<b>-51.3</b>	<b>-45.0</b>	<b>-43.8</b>	<b>-48.1</b>	<b>-37.9</b>	<b>-43.6</b>	<b>-29.1</b>	<b>-30.7</b>	<b>-34.4</b>	<b>-25.4</b>	<b>-29.9</b>	<b>-28.9</b>	<b>-23.2</b>	<b>-24.6</b>	<b>6.7</b>	<b>-25.3</b>	
	傾向値	-37.4		-45.9		-49.8		-48.1		-44.0		-39.2		-35.5		-31.9				
売上額	増加	7.8	4.0	4.3	9.8	8.0	8.5	8.2	8.0	12.5	10.2	12.8	10.4	8.3	10.6	10.4	8.3		8.3	
	変わらず	27.5	44.0	44.7	39.2	42.0	51.1	44.9	56.0	45.8	51.0	44.6	58.3	60.4	59.6	56.3	58.4		70.9	
	減少	64.7	52.0	51.0	51.0	50.0	40.4	46.9	36.0	41.7	38.8	42.6	31.3	31.3	29.8	33.3	33.3		20.8	
	D・I	-56.9	-48.0	-46.7	-41.2	-42.0	-31.9	-38.7	-28.0	-29.2	-28.6	-29.8	-20.9	-23.0	-19.2	-22.9	-25.0		-12.5	
	修正値	<b>-53.7</b>	<b>-46.7</b>	<b>-47.4</b>	<b>-41.1</b>	<b>-40.8</b>	<b>-34.5</b>	<b>-37.4</b>	<b>-23.3</b>	<b>-25.0</b>	<b>-25.6</b>	<b>-30.5</b>	<b>-21.7</b>	<b>-22.0</b>	<b>-22.7</b>	<b>-22.7</b>	<b>-19.0</b>	<b>-0.7</b>	<b>-11.1</b>	
	傾向値	-36.2		-44.8		-48.2		-47.0		-42.6		-37.0		-32.6		-28.2				
受注残	増加	9.8	4.0	6.4	3.9	4.0	6.4	6.1	4.0	10.4	8.2	8.5	6.3	8.3	2.1	10.4	8.3		4.2	
	変わらず	39.2	48.0	53.2	54.9	58.0	61.7	61.2	70.0	60.4	63.2	59.6	68.7	70.9	76.6	70.8	75.0		83.3	
	減少	51.0	48.0	40.4	41.2	38.0	31.9	32.7	26.0	29.2	28.6	31.9	25.0	20.8	21.3	18.8	16.7		12.5	
	D・I	-41.2	-44.0	-34.0	-37.3	-34.0	-25.5	-26.6	-22.0	-18.8	-20.4	-23.4	-18.7	-12.5	-19.2	-8.4	-8.4		-8.3	
	修正値	<b>-40.8</b>	<b>-43.0</b>	<b>-35.7</b>	<b>-36.7</b>	<b>-30.5</b>	<b>-28.3</b>	<b>-25.3</b>	<b>-17.7</b>	<b>-17.9</b>	<b>-18.9</b>	<b>-25.4</b>	<b>-18.0</b>	<b>-9.5</b>	<b>-22.1</b>	<b>-8.6</b>	<b>-5.5</b>	<b>0.9</b>	<b>-7.4</b>	
	傾向値	-28.6		-36.0		-38.8		-36.1		-31.2		-27.0		-23.0		-18.1				
収益	増加	7.8	6.0	6.4	7.8	8.0	4.3	10.2	2.0	10.4	8.2	8.5	10.4	6.3	6.4	6.3	6.3		10.4	
	変わらず	41.2	52.0	46.8	49.1	56.0	55.3	53.1	66.0	56.3	57.1	51.1	62.5	62.4	68.1	64.5	64.5		64.6	
	減少	51.0	42.0	46.8	43.1	36.0	40.4	36.7	32.0	33.3	34.7	40.4	27.1	31.3	25.5	29.2	29.2		25.0	
	D・I	-43.2	-36.0	-40.4	-35.3	-28.0	-36.1	-26.5	-30.0	-22.9	-26.5	-31.9	-16.7	-25.0	-19.1	-22.9	-22.9		-14.6	
	修正値	<b>-41.9</b>	<b>-36.7</b>	<b>-39.1</b>	<b>-32.1</b>	<b>-28.4</b>	<b>-38.0</b>	<b>-26.0</b>	<b>-25.4</b>	<b>-22.5</b>	<b>-27.2</b>	<b>-29.3</b>	<b>-16.4</b>	<b>-25.0</b>	<b>-21.2</b>	<b>-22.7</b>	<b>-18.8</b>	<b>2.3</b>	<b>-16.4</b>	
	傾向値	-31.3		-37.9		-39.2		-36.2		-32.0		-28.4		-27.0		-26.1				
価格動向	販売価格	-3.9	-6.0	-8.5	-5.8	-10.0	-10.7	-10.2	-10.0	-14.6	-10.2	0.0	-12.5	2.1	2.1	4.2	-4.2		4.2	
	修正値	<b>-3.9</b>	<b>-5.8</b>	<b>-8.0</b>	<b>-7.6</b>	<b>-9.4</b>	<b>-9.1</b>	<b>-9.4</b>	<b>-8.0</b>	<b>-13.9</b>	<b>-10.2</b>	<b>-0.9</b>	<b>-13.8</b>	<b>0.8</b>	<b>1.2</b>	<b>2.9</b>	<b>-3.2</b>	<b>2.1</b>	<b>1.8</b>	
	傾向値	-7.0		-7.2		-7.4		-7.9		-9.5		-9.8		-7.2		-3.9				
	原材料価格	0.0	0.0	-4.2	-3.9	2.0	-4.2	8.1	2.0	10.4	6.1	29.8	12.5	31.2	25.5	41.7	29.2		37.5	
	修正値	<b>0.9</b>	<b>3.2</b>	<b>-2.5</b>	<b>-1.5</b>	<b>-0.8</b>	<b>-5.0</b>	<b>10.9</b>	<b>-0.3</b>	<b>10.4</b>	<b>8.6</b>	<b>28.6</b>	<b>12.7</b>	<b>26.8</b>	<b>22.6</b>	<b>40.7</b>	<b>25.3</b>	<b>13.9</b>	<b>37.1</b>	
	傾向値	4.7		2.2		0.2		0.5		2.8		8.3		16.2		24.1				
在庫金・繰り	原材料在庫数量	3.9	0.0	-2.1	1.9	-6.0	-6.4	-4.1	-8.0	0.0	-6.1	-4.2	-4.1	-6.2	-4.2	0.0	-6.2		0.0	
	修正値	<b>3.2</b>	<b>0.6</b>	<b>-0.2</b>	<b>1.9</b>	<b>-5.6</b>	<b>-4.6</b>	<b>-2.9</b>	<b>-7.6</b>	<b>-1.4</b>	<b>-5.3</b>	<b>-2.5</b>	<b>-4.8</b>	<b>-5.6</b>	<b>-3.3</b>	<b>0.7</b>	<b>-6.0</b>	<b>6.3</b>	<b>-0.2</b>	
	資金繰り	-21.6	-20.4	-17.0	-27.4	-22.0	-19.1	-18.3	-10.0	-18.7	-14.3	-14.9	-14.6	-14.5	-19.1	-10.5	-18.7		-12.5	
修正値	<b>-20.2</b>	<b>-21.3</b>	<b>-15.1</b>	<b>-25.9</b>	<b>-22.6</b>	<b>-18.2</b>	<b>-19.1</b>	<b>-10.4</b>	<b>-17.9</b>	<b>-16.1</b>	<b>-14.6</b>	<b>-13.9</b>	<b>-14.2</b>	<b>-18.6</b>	<b>-11.6</b>	<b>-17.4</b>	<b>2.6</b>	<b>-14.2</b>		
前年同期比	売上額	-54.8		-57.4		-38.0		-34.7		-20.8		-25.6		-20.8		-16.7				
	収益	-37.3		-53.1		-28.0		-24.5		-20.8		-23.4		-25.0		-25.0				
雇用	残業時間	-27.5	-18.0	-29.8	-23.5	-10.0	-23.4	-10.2	-10.0	-10.4	-8.2	-6.3	-10.4	-4.2	-4.2	-6.2	-8.3		-10.4	
	入手	-5.9	2.0	4.4	-3.9	2.0	4.4	0.0	2.0	-4.1	2.0	-4.3	-8.3	-8.3	-6.4	0.0	-8.3		0.0	
借入金	借入をした (%)	25.5	16.0	25.5	12.0	24.0	12.8	22.4	10.0	14.6	6.1	12.8	12.5	12.5	17.0	12.5	12.5		6.3	
	借入をしない (%)	74.5	84.0	74.5	88.0	76.0	87.2	77.6	90.0	85.4	93.9	87.2	87.5	87.5	83.0	87.5	87.5		93.7	
	借入難易度	10.9		11.6		11.2		9.1		9.6		2.5		5.3		12.5				
有効回答事業所数		51		47		50		49		48		47		48		48				

注 各項目の右側は前期調査時における予想(計画)値です。

項目	調査期		2020年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 10月～12月期
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	-9.8	-12.0	-10.6	-7.8	-6.0	-8.5	-4.1	-6.0	0.0	-6.1	-4.2	-4.2	-4.2	-4.2	-6.4		-4.2
	実施した・予定あり	22.0	14.6	17.4	18.4	24.5	15.6	20.8	10.6	16.7	14.9	10.9	15.2	14.9	15.6	12.8	17.4	8.7
	事業用土地・建物	9.1	14.3	12.5	11.1	8.3	14.3	20.0	40.0	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	機械・設備の新・増設	45.5	14.3	50.0	33.3	41.7	42.9	10.0	20.0	-	-	40.0	28.6	14.3	28.6	16.7	37.5	50.0
	機械・設備の更改	63.6	71.4	50.0	66.7	33.3	57.1	50.0	20.0	37.5	42.9	80.0	42.9	71.4	57.1	100.0	37.5	50.0
	事務機器	9.1	14.3	12.5	11.1	16.7	-	20.0	-	37.5	28.6	-	14.3	28.6	14.3	-	25.0	25.0
	車両	18.2	-	25.0	-	16.7	-	40.0	20.0	25.0	14.3	-	-	-	-	16.7	12.5	50.0
	その他	-	-	-	-	8.3	14.3	-	20.0	-	14.3	-	14.3	-	14.3	-	12.5	-
	実施しない・予定なし	78.0	85.4	82.6	81.6	75.5	84.4	79.2	89.4	83.3	85.1	89.1	84.8	85.1	84.4	87.2	82.6	91.3
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	47.1		51.1		52.0		51.0		45.8		48.9		43.8		43.8	
人手不足		13.7		6.4		8.0		4.1		8.3		6.4		8.3		8.3		
大手企業との競争の激化		2.0		2.1		-		-		2.1		4.3		4.2		4.2		
同業者間の競争の激化		29.4		31.9		24.0		20.4		18.8		21.3		22.9		16.7		
親企業による選別の強化		2.0		4.3		6.0		4.1		2.1		2.1		2.1		2.1		
輸入製品との競争の激化		2.0		2.1		-		-		2.1		-		-		-		
合理化の不足		5.9		6.4		8.0		4.1		4.2		6.4		8.3		6.3		
利幅の縮小		23.5		23.4		20.0		22.4		12.5		17.0		22.9		14.6		
原材料高		5.9		6.4		8.0		10.2		14.6		23.4		33.3		33.3		
販売納入先からの値下げ要請		9.8		8.5		6.0		6.1		6.3		4.3		4.2		4.2		
仕入先からの値上げ要請		-		2.1		4.0		6.1		4.2		8.5		16.7		27.1		
人件費の増加		3.9		4.3		4.0		2.0		2.1		2.1		4.2		6.3		
人件費以外の経費の増加		2.0		2.1		-		-		-		2.1		6.3		6.3		
工場・機械の狭小・老朽化		13.7		8.5		10.0		8.2		12.5		8.5		8.3		8.3		
生産能力の不足		9.8		8.5		6.0		4.1		4.2		4.3		4.2		2.1		
下請の確保難		-		4.3		-		-		-		2.1		-		-		
代金回収の悪化		-		-		2.0		4.1		2.1		2.1		2.1		-		
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-		
天候の不順		3.9		2.1		2.0		4.1		2.1		2.1		2.1		2.1		
地場産業の衰退		2.0		2.1		2.0		2.0		2.1		2.1		-		-		
大手企業・工場の縮小・撤退		2.0		-		4.0		2.0		2.1		-		-		-		
為替レートの変動		-		-		2.0		-		2.1		-		2.1		2.1		
その他		3.9		2.1		2.0		4.1		2.1		-		2.1		2.1		
問題なし	13.7		10.6		12.0		12.2		22.9		12.8		8.3		8.3			
重点経営施策(%)	販路を広げる	52.9		48.9		52.0		51.0		58.3		53.2		43.8		41.7		
	経費を節減する	45.1		46.8		42.0		40.8		41.7		51.1		56.3		47.9		
	情報力を強化する	15.7		14.9		14.0		10.2		14.6		17.0		16.7		16.7		
	新製品・技術を開発する	19.6		14.9		20.0		20.4		14.6		14.9		8.3		10.4		
	不採算部門を整理・縮小する	5.9		6.4		12.0		6.1		4.2		6.4		14.6		10.4		
	提携先を見つめる	11.8		14.9		12.0		14.3		8.3		12.8		10.4		10.4		
	機械化を推進する	9.8		10.6		6.0		8.2		4.2		2.1		4.2		4.2		
	人材を確保する	11.8		10.6		12.0		8.2		12.5		8.5		12.5		6.3		
	パート化を図る	-		2.1		-		-		-		-		-		-		
	教育訓練を強化する	2.0		6.4		6.0		4.1		4.2		2.1		6.3		4.2		
	労働条件を改善する	2.0		-		-		-		2.1		-		-		-		
	工場・機械を増設・移転する	9.8		4.3		2.0		-		-		-		-		-		
	不動産の有効活用を図る	3.9		4.3		4.0		4.1		2.1		2.1		2.1		4.2		
	その他	2.0		-		-		-		2.1		2.1		-		2.1		
特になし	9.8		10.6		8.0		12.2		12.5		10.6		10.4		12.5			
有効回答事業所数		51		47		50		49		48		47		48		48		

# 卸売業 [2022年7~9月期]

項目	調査期		2020年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対前期比	2022年 10月~12月期	
	10月~12月期	10月~12月期	1月~3月期	1月~3月期	4月~6月期	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期	10月~12月期	10月~12月期	1月~3月期	1月~3月期	4月~6月期	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期			
業況	良い	10.0	-	15.4	10.0	-	7.7	6.7	-	14.3	13.3	-	15.4	9.1	-	23.1	9.1	15.4	
	普通	40.0	30.0	38.5	40.0	54.5	38.5	53.3	54.5	57.1	46.7	25.0	46.1	45.4	41.7	46.1	54.5	38.5	
	悪い	50.0	70.0	46.1	50.0	45.5	53.8	40.0	45.5	28.6	40.0	75.0	38.5	45.5	58.3	30.8	36.4	46.1	
	D・I	-40.0	-70.0	-30.7	-40.0	-45.5	-46.1	-33.3	-45.5	-14.3	-26.7	-75.0	-23.1	-36.4	-58.3	-7.7	-27.3	-30.7	
	修正値	<b>-39.8</b>	<b>-69.0</b>	<b>-29.8</b>	<b>-42.8</b>	<b>-38.7</b>	<b>-47.8</b>	<b>-34.4</b>	<b>-36.4</b>	<b>-15.5</b>	<b>-25.2</b>	<b>-72.8</b>	<b>-26.3</b>	<b>-27.3</b>	<b>-56.1</b>	<b>-9.6</b>	<b>-14.0</b>	<b>17.7</b>	<b>-26.9</b>
	傾向値	-35.4		-44.2		-44.8		-39.5		-34.2		-36.5		-40.9		-36.6			
売上額	増加	10.0	10.0	15.4	10.0	18.2	7.7	13.3	9.1	14.3	20.0	8.3	15.4	36.3	8.3	30.8	27.3	23.1	
	変らず	30.0	20.0	30.8	40.0	36.4	30.8	46.7	72.7	50.0	40.0	16.7	53.8	27.3	41.7	38.4	18.2	30.8	
	減少	60.0	70.0	53.8	50.0	45.4	61.5	40.0	18.2	35.7	40.0	75.0	30.8	36.4	50.0	30.8	54.5	46.1	
	D・I	-50.0	-60.0	-38.4	-40.0	-27.2	-53.8	-26.7	-9.1	-21.4	-20.0	-66.7	-15.4	-0.1	-41.7	0.0	-27.2	-23.0	
	修正値	<b>-48.0</b>	<b>-56.5</b>	<b>-37.6</b>	<b>-42.3</b>	<b>-23.9</b>	<b>-52.9</b>	<b>-25.9</b>	<b>-7.8</b>	<b>-19.9</b>	<b>-15.8</b>	<b>-63.2</b>	<b>-17.3</b>	<b>1.2</b>	<b>-33.6</b>	<b>3.3</b>	<b>-23.9</b>	<b>2.1</b>	<b>-16.3</b>
	傾向値	-45.2		-53.7		-48.7		-38.5		-32.0		-32.0		-32.1		-25.4			
収益	増加	10.0	-	15.4	10.0	9.1	-	6.7	9.1	21.4	13.3	8.3	15.4	18.2	8.3	23.1	9.1	7.7	
	変らず	30.0	30.0	38.5	30.0	54.5	46.2	60.0	72.7	42.9	46.7	16.7	53.8	45.4	50.0	53.8	36.4	53.8	
	減少	60.0	70.0	46.1	60.0	36.4	53.8	33.3	18.2	35.7	40.0	75.0	30.8	36.4	41.7	23.1	54.5	38.5	
	D・I	-50.0	-70.0	-30.7	-50.0	-27.3	-53.8	-26.6	-9.1	-14.3	-26.7	-66.7	-15.4	-18.2	-33.4	0.0	-45.4	-30.8	
	修正値	<b>-47.7</b>	<b>-66.7</b>	<b>-34.0</b>	<b>-52.8</b>	<b>-18.6</b>	<b>-53.5</b>	<b>-28.0</b>	<b>-5.2</b>	<b>-12.2</b>	<b>-21.9</b>	<b>-65.8</b>	<b>-18.2</b>	<b>-6.2</b>	<b>-29.4</b>	<b>-2.1</b>	<b>-37.1</b>	<b>4.1</b>	<b>-23.9</b>
	傾向値	-42.6		-51.1		-46.8		-36.6		-29.2		-29.2		-32.6		-28.1			
価格動向	販売価格	-10.0	-10.0	-23.1	-20.0	9.1	-23.1	20.0	9.1	21.4	6.6	33.4	0.0	54.5	25.0	38.5	27.2	30.8	
	修正値	<b>-11.1</b>	<b>-2.3</b>	<b>-21.6</b>	<b>-24.2</b>	<b>3.0</b>	<b>-18.6</b>	<b>19.4</b>	<b>1.8</b>	<b>17.3</b>	<b>8.9</b>	<b>35.8</b>	<b>-5.0</b>	<b>43.7</b>	<b>29.5</b>	<b>35.7</b>	<b>21.1</b>	<b>-8.0</b>	<b>31.6</b>
	傾向値	-1.3		-5.4		-7.1		-3.5		2.9		13.9		26.7		34.6			
	仕入価格	10.0	0.0	0.0	0.0	45.5	15.4	40.0	9.1	35.7	26.7	58.4	15.4	63.6	50.0	69.2	45.4	61.5	
	修正値	<b>12.2</b>	<b>4.8</b>	<b>1.4</b>	<b>-0.6</b>	<b>36.7</b>	<b>16.8</b>	<b>39.9</b>	<b>7.5</b>	<b>34.0</b>	<b>28.9</b>	<b>58.6</b>	<b>12.5</b>	<b>50.5</b>	<b>44.9</b>	<b>66.4</b>	<b>42.5</b>	<b>15.9</b>	<b>58.8</b>
	傾向値	8.0		7.7		12.5		20.1		27.1		37.6		47.2		53.1			
在庫・繰り	在庫数量	0.0	-10.0	7.7	0.0	9.1	7.7	0.0	0.0	-14.3	-13.3	-16.7	-15.4	9.1	-16.7	7.7	9.1	0.0	
	修正値	<b>0.9</b>	<b>-9.0</b>	<b>9.7</b>	<b>2.1</b>	<b>6.9</b>	<b>9.5</b>	<b>2.7</b>	<b>-2.2</b>	<b>-11.8</b>	<b>-10.2</b>	<b>-14.0</b>	<b>-13.4</b>	<b>5.0</b>	<b>-15.3</b>	<b>8.2</b>	<b>4.9</b>	<b>3.2</b>	<b>3.5</b>
	資金繰り	10.0	-10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-6.7	-8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-7.7	
修正値	<b>3.2</b>	<b>-10.2</b>	<b>-1.6</b>	<b>-10.5</b>	<b>7.9</b>	<b>0.7</b>	<b>1.2</b>	<b>7.2</b>	<b>-4.5</b>	<b>-3.2</b>	<b>-7.8</b>	<b>-7.7</b>	<b>7.6</b>	<b>-7.2</b>	<b>2.5</b>	<b>6.3</b>	<b>-5.1</b>	<b>-2.0</b>	
前年同期比	売上額	-60.0		-53.8		-18.1		-13.3		-7.1		-75.0		-9.1		15.3			
	取益	-70.0		-46.1		-36.4		-20.0		-14.3		-66.7		-18.2		0.0			
	販売価格	-20.0		-15.4		9.1		33.3		14.3		25.0		45.4		23.1			
雇用	残業時間	-11.1	-10.0	-7.7	0.0	0.0	-7.7	-13.3	0.0	0.0	-6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	人手	-10.0	-30.0	-7.7	-10.0	0.0	-7.7	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	-8.3	0.0	-9.1	-15.4	
	借入金	40.0	20.0	30.8	30.0	9.1	23.1	20.0	18.2	38.5	13.3	25.0	30.8	36.4	25.0	23.1	18.2	30.8	
借入をしない(%)	60.0	80.0	69.2	70.0	90.9	76.9	80.0	81.8	61.5	86.7	75.0	69.2	63.6	75.0	76.9	81.8	69.2		
借入難易度	28.6		18.2		25.0		16.7		30.0		10.0		33.3		30.0				
有効回答事業所数		10		13		11		15		14		12		11		13			

注 各項目の右側は前期調査時における予想(計画)値です。

項目	調査期		2020年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 10月~12月期	
	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期							
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	10.0	-7.7	10.0	0.0	0.0	-6.7	0.0	0.0	-7.1	0.0	0.0	9.1	0.0	8.3	0.0	0.0	
	実施した	20.0	10.0	15.4	10.0	9.1	15.4	13.3	0.0	21.4	13.3	8.3	21.4	18.2	16.7	30.8	18.2	25.0	
	事業用土地・建物	50.0	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	66.7	100.0	-	66.7	50.0	-	25.0	-	-	
	機械・設備の新・増設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	
	投資内容 機械・設備の更改	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	33.3	-	50.0	-	-	-	33.3
	事務機器	-	-	-	100.0	100.0	50.0	100.0	-	33.3	50.0	-	33.3	-	-	50.0	50.0	-	33.3
	車両	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	66.7
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない	80.0	90.0	84.6	90.0	90.9	84.6	86.7	100.0	78.6	86.7	91.7	78.6	81.8	83.3	69.2	81.8	-	75.0
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	60.0	-	46.2	-	45.5	-	33.3	-	21.4	-	33.3	-	36.4	-	38.5	-	-
人手不足		10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	15.4	-	-		
同業者間の競争の激化		20.0	-	38.5	-	18.2	-	26.7	-	21.4	-	25.0	-	36.4	-	30.8	-	-	
輸入品との競争の激化		10.0	-	-	-	9.1	-	-	-	-	-	8.3	-	9.1	-	15.4	-	-	
流通経路の変化による競争の激化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	
合理化の不足		-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	
小口注文・多頻度配送の増加		10.0	-	15.4	-	-	-	-	-	14.3	-	16.7	-	9.1	-	-	-	-	
利幅の縮小		50.0	-	30.8	-	45.5	-	40.0	-	28.6	-	33.3	-	36.4	-	23.1	-	-	
取扱商品の陳腐化		-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
販売商品の不足		-	-	7.7	-	18.2	-	13.3	-	7.1	-	-	-	9.1	-	15.4	-	-	
販売納入先からの値下げ要請		10.0	-	30.8	-	9.1	-	6.7	-	7.1	-	8.3	-	9.1	-	7.7	-	-	
仕入先からの値上げ要請		20.0	-	15.4	-	27.3	-	20.0	-	21.4	-	33.3	-	45.5	-	53.8	-	-	
人件費の増加		10.0	-	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
人件費以外の経費の増加		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
取引先の減少		-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	8.3	-	9.1	-	7.7	-	-	
店舗の狭小・老朽化		10.0	-	-	-	-	-	6.7	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	
代金回収の悪化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
地価の高騰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
駐車場の確保難		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
天候の不順		10.0	-	15.4	-	18.2	-	6.7	-	7.1	-	8.3	-	-	-	-	-	-	
地場産業の衰退	-	-	7.7	-	9.1	-	6.7	-	7.1	-	8.3	-	9.1	-	-	-	-		
為替レートの変動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	-	-	23.1	-	-		
大手企業・工場の縮小・撤退	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
その他	20.0	-	23.1	-	27.3	-	6.7	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-		
問題なし	-	-	7.7	-	-	-	6.7	-	7.1	-	8.3	-	9.1	-	-	-	-		
重点経営施策(%)	販路を広げる	60.0	-	61.5	-	54.5	-	73.3	-	64.3	-	75.0	-	54.5	-	69.2	-	-	
	経費を削減する	40.0	-	30.8	-	36.4	-	26.7	-	14.3	-	25.0	-	27.3	-	38.5	-	-	
	品揃えを充実する	20.0	-	30.8	-	27.3	-	33.3	-	28.6	-	50.0	-	18.2	-	15.4	-	-	
	情報力を強化する	10.0	-	30.8	-	36.4	-	33.3	-	42.9	-	25.0	-	27.3	-	23.1	-	-	
	新しい事業を始める	-	-	7.7	-	9.1	-	6.7	-	14.3	-	-	-	-	-	7.7	-	-	
	提携先を見つける	10.0	-	7.7	-	9.1	-	-	-	7.1	-	8.3	-	27.3	-	7.7	-	-	
	機械化を推進する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	人材を確保する	10.0	-	7.7	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	18.2	-	23.1	-	-	
	パート化を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-	-	
	教育訓練を強化する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	流通経路の見直しをする	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	-	-	-	-	-	
	取引先を支援する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入品の取扱いを増やす	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	9.1	-	7.7	-	-	
	労働条件を改善する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	-	-	
	不動産の有効活用を図る	10.0	-	7.7	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	9.1	-	7.7	-	-	
その他	10.0	-	15.4	-	18.2	-	6.7	-	7.1	-	8.3	-	-	-	-	-	-		
特になし	10.0	-	7.7	-	9.1	-	6.7	-	7.1	-	16.7	-	18.2	-	15.4	-	-		
有効回答事業所数		10		13		11		15		14		12		11		13			

# 小売業 [2022年7~9月期]

項目	調査期	2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対前期比	2022年 10月~12月期
		10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期						
業況	良い	5.6	3.8	2.0	5.8	3.8	2.0	6.4	4.2	6.0	6.7	2.2	10.2	2.0	4.5	-	4.3		2.0
	普通	50.0	54.7	41.2	48.0	52.0	48.0	57.4	54.1	62.0	55.5	58.7	67.4	66.0	61.4	71.4	74.4		67.4
	悪い	44.4	41.5	56.8	46.2	44.2	50.0	36.2	41.7	32.0	37.8	39.1	22.4	32.0	34.1	28.6	21.3		30.6
	D・I	-38.8	-37.7	-54.8	-40.4	-40.4	-48.0	-29.8	-37.5	-26.0	-31.1	-36.9	-12.2	-30.0	-29.6	-28.6	-17.0		-28.6
	修正値	<b>-39.0</b>	<b>-39.3</b>	<b>-53.3</b>	<b>-40.0</b>	<b>-38.0</b>	<b>-46.3</b>	<b>-31.3</b>	<b>-34.1</b>	<b>-26.6</b>	<b>-33.8</b>	<b>-32.9</b>	<b>-14.3</b>	<b>-26.9</b>	<b>-26.6</b>	<b>-30.9</b>	<b>-14.0</b>	<b>-4.0</b>	<b>-29.9</b>
	傾向値	-26.0		-35.7		-42.0		-41.9		-39.4		-35.5		-32.0		-30.5			
売上額	増加	5.6	3.8	1.9	7.4	3.8	3.8	8.5	5.8	10.0	10.6	6.5	16.0	10.0	10.9	2.0	10.0		4.1
	変らず	40.7	41.5	36.5	48.2	55.8	57.7	59.6	57.7	58.0	61.7	50.0	62.0	60.0	60.8	71.5	74.0		75.5
	減少	53.7	54.7	61.6	44.4	40.4	38.5	31.9	36.5	32.0	27.7	43.5	22.0	30.0	28.3	26.5	16.0		20.4
	D・I	-48.1	-50.9	-59.7	-37.0	-36.6	-34.7	-23.4	-30.7	-22.0	-17.1	-37.0	-6.0	-20.0	-17.4	-24.5	-6.0		-16.3
	修正値	<b>-47.3</b>	<b>-48.9</b>	<b>-59.8</b>	<b>-37.6</b>	<b>-34.1</b>	<b>-36.4</b>	<b>-22.9</b>	<b>-27.2</b>	<b>-21.2</b>	<b>-16.3</b>	<b>-34.9</b>	<b>-9.8</b>	<b>-17.9</b>	<b>-19.0</b>	<b>-24.7</b>	<b>-3.1</b>	<b>-6.8</b>	<b>-14.0</b>
	傾向値	-32.8		-43.5		-49.3		-45.4		-38.7		-32.6		-27.7		-25.7			
収益	増加	3.7	5.7	1.9	5.6	3.8	5.8	6.4	5.8	8.0	6.4	6.5	16.0	6.0	8.7	-	12.0		2.0
	変らず	40.7	43.4	38.5	51.8	53.9	59.6	65.9	55.7	60.0	68.1	52.2	62.0	68.0	60.9	75.5	72.0		73.5
	減少	55.6	50.9	59.6	42.6	42.3	34.6	27.7	38.5	32.0	25.5	41.3	22.0	26.0	30.4	24.5	16.0		24.5
	D・I	-51.9	-45.2	-57.7	-37.0	-38.5	-28.8	-21.3	-32.7	-24.0	-19.1	-34.8	-6.0	-20.0	-21.7	-24.5	-4.0		-22.5
	修正値	<b>-50.4</b>	<b>-43.1</b>	<b>-58.3</b>	<b>-36.8</b>	<b>-35.6</b>	<b>-31.3</b>	<b>-21.3</b>	<b>-30.3</b>	<b>-23.2</b>	<b>-17.4</b>	<b>-34.2</b>	<b>-8.6</b>	<b>-18.0</b>	<b>-23.9</b>	<b>-24.6</b>	<b>-2.5</b>	<b>-6.6</b>	<b>-18.5</b>
	傾向値	-32.1		-43.1		-49.1		-45.8		-38.9		-32.5		-27.3		-25.4			
価格動向	販売価格	-3.7	0.0	-9.7	-3.7	-3.9	-9.6	-2.2	-3.8	-10.0	-6.4	0.0	-8.0	8.0	2.2	12.2	14.0		10.2
	修正値	<b>-1.3</b>	<b>-0.9</b>	<b>-10.0</b>	<b>-1.8</b>	<b>-4.6</b>	<b>-8.3</b>	<b>-2.7</b>	<b>-4.4</b>	<b>-6.4</b>	<b>-6.6</b>	<b>0.0</b>	<b>-6.6</b>	<b>5.2</b>	<b>2.1</b>	<b>9.8</b>	<b>9.6</b>	<b>4.6</b>	<b>8.7</b>
	傾向値	-1.4		-4.2		-5.2		-4.8		-5.7		-5.2		-2.5		0.8			
	仕入価格	1.9	0.0	2.0	1.9	1.9	0.0	2.1	0.0	-2.0	-4.3	17.4	4.0	18.0	19.6	20.4	22.0		22.5
	修正値	<b>4.5</b>	<b>-0.8</b>	<b>-0.4</b>	<b>5.4</b>	<b>2.7</b>	<b>-0.6</b>	<b>2.5</b>	<b>1.0</b>	<b>1.3</b>	<b>-5.3</b>	<b>12.8</b>	<b>6.0</b>	<b>17.3</b>	<b>15.7</b>	<b>20.4</b>	<b>20.4</b>	<b>3.1</b>	<b>21.6</b>
	傾向値	6.6		3.0		1.0		1.5		1.5		2.9		6.9		11.2			
在庫・資金繰り	在庫数量	7.4	9.4	1.9	5.5	7.7	0.0	6.3	9.6	8.0	8.5	13.1	6.0	6.0	13.1	4.0	8.0		6.1
	修正値	<b>7.3</b>	<b>7.6</b>	<b>0.7</b>	<b>5.9</b>	<b>8.7</b>	<b>-0.3</b>	<b>4.6</b>	<b>8.0</b>	<b>7.8</b>	<b>6.4</b>	<b>11.6</b>	<b>7.4</b>	<b>6.4</b>	<b>12.5</b>	<b>3.1</b>	<b>6.3</b>	<b>-3.3</b>	<b>4.4</b>
	資金繰り	-27.8	-28.3	-30.8	-25.9	-23.1	-23.1	-19.1	-19.2	-20.0	-19.6	-19.5	-16.0	-18.0	-17.4	-20.4	-18.0		-16.3
修正値	<b>-26.8</b>	<b>-28.9</b>	<b>-30.7</b>	<b>-24.5</b>	<b>-20.9</b>	<b>-23.9</b>	<b>-19.6</b>	<b>-17.3</b>	<b>-20.3</b>	<b>-19.9</b>	<b>-18.9</b>	<b>-15.6</b>	<b>-16.1</b>	<b>-17.7</b>	<b>-20.6</b>	<b>-16.8</b>	<b>-4.5</b>	<b>-16.2</b>	
前年同期比	売上額	-55.5		-59.7		-34.7		-29.8		-14.0		-32.6		-12.3		-16.3			
	収益	-55.6		-57.8		-38.5		-25.5		-12.0		-28.3		-10.2		-22.4			
	販売価格	0.0		-3.9		-3.8		-6.4		-10.0		2.2		12.3		18.4			
雇用	残業時間	-16.7	-11.3	-11.6	-12.9	-13.5	-7.7	-8.5	-11.6	-2.0	-4.3	-2.2	-4.1	-2.0	-2.1	0.0	0.0		-2.1
	人手	-11.1	-11.3	-7.7	-11.1	-3.9	-7.7	-6.4	-2.0	-2.0	-4.3	-13.0	-4.1	-4.0	-10.9	-6.2	-4.0		-8.3
借入金	借入をした (%)	18.5	11.3	17.3	9.3	19.2	17.6	17.0	9.6	18.0	10.9	10.9	16.0	14.0	15.2	10.2	12.0		6.1
	借入をしない (%)	81.5	88.7	82.7	90.7	80.8	82.4	83.0	90.4	82.0	89.1	89.1	84.0	86.0	84.8	89.8	88.0		93.9
	借入難易度	-6.8		-7.2		0.0		0.0		0.0		-9.5		-5.1		-4.8			
有効回答事業所数		54		52		52		47		50		46		50		49			



注 各項目の右側は前期調査時における予想(計画)値です。

項目	調査期	2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 10月～12月期	
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	0.0	-1.9	0.0	-5.8	-1.9	-2.1	-7.7	-2.0	-2.1	-2.2	-2.0	-4.0	-2.2	-6.1	-4.0		-6.1	
	実施した	0.0	1.9	2.0	1.9	4.1	2.0	6.8	6.1	2.1	6.8	2.2	4.3	6.4	6.7	6.1	0.0		6.1	
	- 事業用土地・建物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	33.3	-	-	-		-	
	- 事務機器	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	-	50.0	33.3	33.3	33.3	-		33.3	
	- 車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-		33.3	
	- その他	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	50.0	33.3	33.3	33.3	-		33.3	
	実施しない	100.0	98.1	98.0	98.1	95.9	98.0	93.2	93.9	97.9	93.2	97.8	95.7	93.6	93.3	93.9	100.0		93.9	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	55.6		51.9		48.1		38.3		38.0		45.7		38.0		40.8			
		人手不足	9.3		5.8		1.9		6.4		4.0		13.0		8.0		10.2			
		同業者間の競争の激化	18.5		19.2		25.0		23.4		26.0		28.3		22.0		20.4			
大型店との競争の激化		27.8		17.3		21.2		23.4		24.0		23.9		26.0		18.4				
輸入製品との競争の激化		-		1.9		1.9		2.1		4.0		2.2		2.0		2.0				
利幅の縮小		7.4		7.7		5.8		-		4.0		8.7		12.0		16.3				
取扱商品の陳腐化		1.9		7.7		5.8		6.4		8.0		8.7		4.0		4.1				
販売商品の不足		3.7		3.8		1.9		-		-		2.2		4.0		4.1				
販売納入先からの値下げ要請		-		1.9		1.9		-		-		-		-		-				
仕入先からの値上げ要請		3.7		1.9		1.9		4.3		8.0		13.0		18.0		30.6				
人件費の増加		1.9		-		1.9		2.1		2.0		-		-		-				
人件費以外の経費の増加		-		-		-		2.1		-		-		-		4.1				
取引先の減少		7.4		7.7		11.5		4.3		2.0		4.3		6.0		6.1				
商圏人口の減少		11.1		13.5		17.3		17.0		10.0		10.9		14.0		10.2				
商店街の集客力の低下		27.8		28.8		28.8		21.3		28.0		23.9		22.0		24.5				
店舗の狭小・老朽化		1.9		1.9		1.9		-		-		-		2.0		2.0				
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		2.0		-				
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-				
駐車場の確保難		-		-		-		-		-		-		-		-				
天候の不順		3.7		1.9		5.8		6.4		6.0		6.5		4.0		4.1				
地場産業の衰退	1.9		-		1.9		-		-		-		-		-					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-					
その他	3.7		3.8		3.8		2.1		2.0		-		-		-					
問題なし	13.0		9.6		9.6		14.9		14.0		4.3		8.0		8.2					
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	18.5		25.0		23.1		10.6		24.0		21.7		20.0		28.6				
	経費を削減する	40.7		44.2		46.2		53.2		50.0		54.3		50.0		55.1				
	宣伝・広告を強化する	27.8		25.0		23.1		25.5		22.0		26.1		36.0		24.5				
	新しい事業を始める	1.9		1.9		3.8		6.4		6.0		2.2		4.0		4.1				
	店舗・設備を改装する	3.7		1.9		3.8		4.3		4.0		4.3		4.0		4.1				
	仕入先を開拓・選別する	7.4		7.7		7.7		4.3		10.0		8.7		4.0		8.2				
	営業時間を延長する	-		-		3.8		-		2.0		2.2		-		2.0				
	売れ筋商品を取り扱う	14.8		17.3		21.2		12.8		14.0		17.4		20.0		16.3				
	商店街事業を活性化させる	31.5		25.0		25.0		25.5		16.0		23.9		20.0		16.3				
	機械化を推進する	-		1.9		-		-		-		-		-		-				
	人材を確保する	3.7		7.7		1.9		6.4		2.0		6.5		6.0		6.1				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	1.9		-		3.8		4.3		-		2.2		-		2.0				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		2.2		-		-				
	不動産の有効活用を図る	1.9		-		-		-		-		-		2.0		4.1				
その他	-		-		-		-		-		-		-		-					
特になし	14.8		13.5		13.5		17.0		18.0		8.7		16.0		14.3					
有効回答事業所数		54		52		52		47		50		46		50		49				

# サービス業 [2022年7~9月期]

項 目	調査期	2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対	2022年
	10月~12月期	10月~12月期	1月~3月期	1月~3月期	4月~6月期	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期	10月~12月期	10月~12月期	1月~3月期	1月~3月期	4月~6月期	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期	前期比	10月~12月期	
業況	良 い	-	-	-	1.7	-	-	-	3.7	-	6.3	1.9	4.0	2.1	2.0	2.0		2.0	
	普 通	45.8	50.9	35.1	52.5	41.8	42.1	50.0	43.6	44.4	58.2	47.9	59.2	50.0	60.4	63.3	58.0	65.3	
	悪 い	54.2	49.1	64.9	45.8	58.2	57.9	50.0	56.4	51.9	41.8	45.8	38.9	46.0	37.5	34.7	40.0	32.7	
	D・I	-54.2	-49.1	-64.9	-44.1	-58.2	-57.9	-50.0	-56.4	-48.2	-41.8	-39.5	-37.0	-42.0	-35.4	-32.7	-38.0	-30.7	
	修正値	<b>-52.3</b>	<b>-47.6</b>	<b>-62.9</b>	<b>-42.8</b>	<b>-56.8</b>	<b>-56.2</b>	<b>-48.0</b>	<b>-52.7</b>	<b>-46.4</b>	<b>-41.0</b>	<b>-37.9</b>	<b>-37.2</b>	<b>-40.5</b>	<b>-35.0</b>	<b>-32.5</b>	<b>-34.3</b>	<b>8.0</b>	<b>-28.9</b>
傾向値	-44.6		-52.6		-57.8		-57.5		-56.1		-52.2		-47.0		-42.8				
売上額	増 加	3.4	1.8	-	1.7	-	1.8	-	1.8	13.0	-	12.5	9.3	12.0	8.3	6.1	12.0	10.2	
	変 ら ず	42.4	52.6	35.1	55.9	43.6	38.6	55.4	49.1	48.1	64.3	45.8	59.2	62.0	60.4	67.4	68.0	67.4	
	減 少	54.2	45.6	64.9	42.4	56.4	59.6	44.6	49.1	38.9	35.7	41.7	31.5	26.0	31.3	26.5	20.0	22.4	
	D・I	-50.8	-43.8	-64.9	-40.7	-56.4	-57.8	-44.6	-47.3	-25.9	-35.7	-29.2	-22.2	-14.0	-23.0	-20.4	-8.0	-12.2	
	修正値	<b>-47.4</b>	<b>-41.5</b>	<b>-64.1</b>	<b>-39.1</b>	<b>-56.0</b>	<b>-55.9</b>	<b>-40.2</b>	<b>-44.5</b>	<b>-25.2</b>	<b>-34.1</b>	<b>-29.4</b>	<b>-23.4</b>	<b>-16.5</b>	<b>-22.6</b>	<b>-16.9</b>	<b>-8.5</b>	<b>-0.4</b>	<b>-9.4</b>
傾向値	-43.5		-52.4		-58.2		-56.4		-51.1		-43.5		-33.7		-25.4				
収益	増 加	5.1	1.8	-	1.7	1.8	1.8	1.8	11.1	1.8	12.5	7.4	12.0	8.3	4.1	12.0	6.1		
	変 ら ず	45.8	52.6	40.4	59.3	43.6	40.4	57.1	47.3	53.7	66.1	47.9	63.0	60.0	64.6	69.4	68.0	69.4	
	減 少	49.1	45.6	59.6	39.0	54.6	57.8	41.1	50.9	35.2	32.1	39.6	29.6	28.0	27.1	26.5	20.0	24.5	
	D・I	-44.0	-43.8	-59.6	-37.3	-52.8	-56.0	-39.3	-49.1	-24.1	-30.3	-27.1	-22.2	-16.0	-18.8	-22.4	-8.0	-18.4	
	修正値	<b>-40.9</b>	<b>-41.7</b>	<b>-59.5</b>	<b>-35.0</b>	<b>-52.4</b>	<b>-55.1</b>	<b>-35.1</b>	<b>-46.1</b>	<b>-23.5</b>	<b>-29.2</b>	<b>-28.1</b>	<b>-22.6</b>	<b>-17.7</b>	<b>-20.5</b>	<b>-19.3</b>	<b>-8.0</b>	<b>-1.6</b>	<b>-15.4</b>
傾向値	-39.1		-46.1		-52.3		-51.1		-46.4		-39.9		-31.2		-24.5				
価格動向	料 金 価 格	0.0	-1.8	0.0	-3.4	-1.8	0.0	-3.6	-1.8	-5.6	-1.8	-8.3	-1.9	2.0	-4.2	4.1	8.0	6.1	
	” 修正値	<b>-0.9</b>	<b>-1.5</b>	<b>-0.5</b>	<b>-3.4</b>	<b>-2.1</b>	<b>-1.3</b>	<b>-2.8</b>	<b>-1.5</b>	<b>-5.8</b>	<b>-2.0</b>	<b>-8.2</b>	<b>-2.1</b>	<b>0.6</b>	<b>-5.3</b>	<b>3.5</b>	<b>5.4</b>	<b>2.9</b>	<b>5.7</b>
	” 傾向値	1.0		0.0		-0.5		-0.9		-2.1		-3.8		-4.4		-2.9			
	材 料 価 格	5.1	0.0	0.0	3.4	0.0	1.8	3.6	0.0	5.6	3.6	8.3	9.4	30.0	10.4	30.6	32.0	26.5	
	” 修正値	<b>4.3</b>	<b>3.6</b>	<b>-1.0</b>	<b>2.9</b>	<b>0.7</b>	<b>0.4</b>	<b>5.6</b>	<b>-0.6</b>	<b>4.0</b>	<b>6.0</b>	<b>6.4</b>	<b>8.3</b>	<b>27.1</b>	<b>7.9</b>	<b>29.6</b>	<b>27.7</b>	<b>2.5</b>	<b>27.5</b>
” 傾向値	7.3		4.1		1.7		1.7		2.2		3.3		8.1		15.3				
在庫・繰り	資 金 繰 り	-25.4	-19.3	-29.8	-23.7	-21.8	-28.1	-28.6	-21.8	-29.6	-25.0	-22.9	-22.2	-16.0	-16.7	-10.2	-10.0	-8.1	
	” 修正値	<b>-23.2</b>	<b>-18.8</b>	<b>-29.9</b>	<b>-22.8</b>	<b>-21.2</b>	<b>-27.7</b>	<b>-28.2</b>	<b>-20.8</b>	<b>-27.9</b>	<b>-24.9</b>	<b>-23.2</b>	<b>-21.9</b>	<b>-17.3</b>	<b>-16.4</b>	<b>-10.6</b>	<b>-11.1</b>	<b>6.7</b>	<b>-8.1</b>
前年同期比	売 上 額	-55.9		-66.7		-61.8		-51.8		-24.0		-20.8		-10.0		-20.4			
	収 益	-45.7		-61.4		-58.2		-44.6		-25.9		-25.0		-12.0		-20.4			
雇 用 人 手	残 業 時 間	-30.5	-18.2	-28.1	-27.1	-9.1	-24.6	-17.9	-9.1	-13.0	-8.9	-10.4	-9.3	-8.0	-4.2	-8.2	-4.0	-4.1	
	手 数	-5.2	0.0	-3.5	-5.2	-3.6	-3.5	-5.3	-5.4	-3.7	-5.3	-6.2	-5.5	-6.0	-10.4	-14.3	-8.0	-14.3	
借 入 金	借 入 を し た (%)	28.8	12.3	19.6	10.2	16.4	3.6	12.5	5.5	11.1	14.3	12.5	14.8	10.0	16.7	8.2	16.0	8.2	
	借 入 を し な い (%)	71.2	87.7	80.4	89.8	83.6	96.4	87.5	94.5	88.9	85.7	87.5	85.2	90.0	83.3	91.8	84.0	91.8	
	借 入 難 易 度	6.8		6.9		-4.8		-4.3		-15.2		-8.3		0.0		-2.7			
有効回答事業所数		59		57		55		56		54		49		50		49			

注 各項目の右側は前期調査時における予想(計画)値です。

項 目	調査期	2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-6.8	-7.1	-10.7	-10.2	-5.5	-10.7	-1.8	-5.5	-3.7	-1.8	-10.4	-9.3	0.0	-10.4	-2.1	0.0		-2.1
	実施した	17.2	11.3	19.6	10.3	12.7	12.5	10.9	16.4	18.5	17.9	14.6	24.1	12.0	19.1	12.2	14.0		16.3
	事業用地・建物	10.0	-	9.1	16.7	42.9	28.6	16.7	44.4	20.0	30.0	-	23.1	-	-	-	-		28.6
	機械・設備の新・増設	10.0	33.3	27.3	33.3	14.3	14.3	16.7	22.2	30.0	30.0	28.6	23.1	50.0	44.4	50.0	42.9		37.5
	機械・設備の更改	40.0	50.0	54.5	16.7	57.1	42.9	66.7	44.4	50.0	20.0	42.9	46.2	33.3	33.3	66.7	28.6		50.0
	事務機器	20.0	-	18.2	16.7	42.9	28.6	33.3	22.2	30.0	20.0	42.9	23.1	16.7	33.3	33.3	14.3		50.0
	車両	10.0	16.7	18.2	33.3	-	-	-	-	20.0	20.0	-	15.4	16.7	22.2	-	14.3		-
	その他	10.0	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない	82.8	88.7	80.4	89.7	87.3	87.5	89.1	83.6	81.5	82.1	85.4	75.9	88.0	80.9	87.8	86.0		83.7
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	47.5		49.1		50.9		46.4		48.1		51.0		50.0		42.9		
人手不足		6.8		8.8		9.1		10.7		14.8		16.3		12.0		16.3			
同業者間の競争の激化		28.8		22.8		25.5		23.2		31.5		32.7		24.0		26.5			
大企業との競争の激化		5.1		10.5		7.3		3.6		9.3		4.1		2.0		4.1			
合理化の不足		3.4		3.5		1.8		1.8		3.7		6.1		4.0		2.0			
利幅の縮小		13.6		15.8		14.5		16.1		11.1		12.2		16.0		10.2			
取扱事務の陳腐化		-		-		-		-		-		-		2.0		-			
材料価格の上昇		1.7		-		-		-		3.7		6.1		16.0		24.5			
料金の値下げ要請		3.4		3.5		3.6		5.4		3.7		2.0		4.0		2.0			
人件費の増加		5.1		1.8		3.6		7.1		1.9		4.1		4.0		6.1			
人件費以外の経費の増加		3.4		3.5		3.6		-		-		-		-		2.0			
技術力の不足		5.1		3.5		1.8		3.6		3.7		12.2		8.0		8.2			
取引先の減少		15.3		10.5		10.9		12.5		16.7		12.2		14.0		16.3			
商圏人口の減少		11.9		12.3		12.7		7.1		7.4		8.2		4.0		6.1			
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-			
駐車場の確保難		1.7		1.8		1.8		-		-		-		-		-			
店舗・設備の狭小・老朽化		11.9		10.5		12.7		14.3		13.0		6.1		8.0		2.0			
代金回収の悪化		1.7		-		1.8		3.6		-		-		-		-			
天候の不順		5.1		3.5		3.6		-		1.9		2.0		-		-			
地場産業の衰退		1.7		1.8		-		-		-		2.0		-		-			
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		1.8		-		-		4.1		2.0		2.0				
その他	3.4		5.3		7.3		7.1		1.9		4.1		-		-				
問題なし	11.9		14.0		12.7		14.3		7.4		8.2		8.0		8.2				
重点経営施策(%)	販路を広げる	35.6		38.6		40.0		35.7		35.2		30.6		34.0		36.7			
	経費を削減する	39.0		42.1		41.8		41.1		38.9		36.7		44.0		42.9			
	宣伝・広告を強化する	18.6		15.8		18.2		16.1		31.5		20.4		24.0		28.6			
	新しい事業を始める	3.4		-		3.6		5.4		3.7		4.1		2.0		2.0			
	店舗・設備を改装する	8.5		5.3		10.9		7.1		11.1		14.3		6.0		2.0			
	提携先を見つける	5.1		1.8		1.8		1.8		1.9		2.0		4.0		-			
	技術力を強化する	18.6		22.8		25.5		17.9		18.5		18.4		22.0		24.5			
	機械化を推進する	1.7		3.5		3.6		-		-		2.0		4.0		2.0			
	人材を確保する	11.9		10.5		9.1		8.9		14.8		24.5		16.0		14.3			
	パート化を図る	-		1.8		3.6		1.8		1.9		-		2.0		2.0			
	教育訓練を強化する	3.4		1.8		1.8		3.6		3.7		4.1		2.0		4.1			
	労働条件を改善する	3.4		1.8		1.8		3.6		5.6		-		-		-			
	不動産の有効活用を図る	3.4		1.8		1.8		3.6		1.9		2.0		4.0		-			
その他	-		-		1.8		-		1.9		-		-		-				
特になし	20.3		24.6		12.7		16.1		13.0		14.3		12.0		12.2				
有効回答事業所数		59		57		55		56		54		49		50		49			

# 建設業 [2022年7~9月期]

項目	調査期	2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対前期比	2022年 10月~12月期
		10月~12月期	1月~3月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期			
業況	良い	10.3	7.4	3.7	6.9	-	3.7	10.0	-	6.5	13.3	-	6.7	10.0	3.7	-	10.0		3.4
	普通	48.3	40.7	44.4	51.7	55.6	44.4	60.0	66.7	77.4	63.4	69.0	66.6	63.3	63.0	75.9	60.0	82.8	
	悪い	41.4	51.9	51.9	41.4	44.4	51.9	30.0	33.3	16.1	23.3	31.0	26.7	26.7	33.3	24.1	30.0	13.8	
	D・I	-31.1	-44.5	-48.2	-34.5	-44.4	-48.2	-20.0	-33.3	-9.6	-10.0	-31.0	-20.0	-16.7	-29.6	-24.1	-20.0	-10.4	
	修正値	<b>-29.9</b>	<b>-40.8</b>	<b>-49.7</b>	<b>-33.3</b>	<b>-39.2</b>	<b>-49.3</b>	<b>-16.7</b>	<b>-26.6</b>	<b>-11.5</b>	<b>-8.5</b>	<b>-31.5</b>	<b>-19.6</b>	<b>-9.3</b>	<b>-29.0</b>	<b>-20.9</b>	<b>-12.0</b>	<b>-11.6</b>	<b>-12.4</b>
傾向値	-22.8	-	-35.5	-43.3	-	-39.5	-33.2	-28.4	-22.8	-19.8	-	-	-	-	-	-	-	-	
売上額	増加	6.9	3.8	-	3.4	-	7.4	6.7	3.7	16.1	10.0	-	16.1	13.3	6.9	6.9	6.7	3.4	
	変らず	41.4	53.9	40.7	58.7	59.3	48.2	60.0	59.3	64.5	63.3	75.9	61.3	60.0	75.9	62.1	63.3	75.9	
	減少	51.7	42.3	59.3	37.9	40.7	44.4	33.3	37.0	19.4	26.7	24.1	22.6	26.7	17.2	31.0	30.0	20.7	
	D・I	-44.8	-38.5	-59.3	-34.5	-40.7	-37.0	-26.6	-33.3	-3.3	-16.7	-24.1	-6.5	-13.4	-10.3	-24.1	-23.3	-17.3	
	修正値	<b>-44.4</b>	<b>-35.9</b>	<b>-61.5</b>	<b>-34.4</b>	<b>-35.0</b>	<b>-37.6</b>	<b>-20.0</b>	<b>-26.8</b>	<b>-7.5</b>	<b>-15.7</b>	<b>-26.0</b>	<b>-7.7</b>	<b>-6.2</b>	<b>-9.9</b>	<b>-16.8</b>	<b>-15.0</b>	<b>-10.6</b>	<b>-16.0</b>
傾向値	-31.5	-	-46.0	-	-53.1	-	-47.4	-37.7	-	-28.1	-	-	-20.3	-	-16.5	-	-	-	
受注残	増加	10.3	3.7	3.7	3.4	-	3.7	3.3	3.7	12.9	10.0	-	12.9	13.3	6.9	10.3	10.0	3.4	
	変らず	41.4	51.9	44.4	58.7	63.0	55.6	66.7	70.4	67.7	66.7	65.5	61.3	60.0	65.5	62.1	63.3	75.9	
	減少	48.3	44.4	51.9	37.9	37.0	40.7	30.0	25.9	19.4	23.3	34.5	25.8	26.7	27.6	27.6	26.7	20.7	
	D・I	-38.0	-40.7	-48.2	-34.5	-37.0	-37.0	-26.7	-22.2	-6.5	-13.3	-34.5	-12.9	-13.4	-20.7	-17.3	-16.7	-17.3	
	修正値	<b>-37.8</b>	<b>-37.5</b>	<b>-50.1</b>	<b>-33.8</b>	<b>-30.7</b>	<b>-36.9</b>	<b>-21.7</b>	<b>-18.1</b>	<b>-10.0</b>	<b>-12.1</b>	<b>-34.4</b>	<b>-13.2</b>	<b>-6.2</b>	<b>-18.6</b>	<b>-12.8</b>	<b>-12.4</b>	<b>-6.6</b>	<b>-15.9</b>
傾向値	-28.7	-	-41.0	-45.8	-	-40.6	-33.5	-26.4	-	-27.9	-	-	-23.2	-	-19.1	-	-	-	
施工高	増加	3.4	7.4	-	3.4	-	3.7	6.7	3.7	6.5	10.0	6.9	6.5	16.7	6.9	13.8	6.7	3.4	
	変らず	62.1	44.4	63.0	69.0	66.7	63.0	70.0	70.4	80.6	73.3	82.8	77.4	66.6	86.2	65.5	70.0	79.4	
	減少	34.5	48.2	37.0	27.6	33.3	33.3	23.3	25.9	12.9	16.7	10.3	16.1	16.7	6.9	20.7	23.3	17.2	
	D・I	-31.1	-40.8	-37.0	-24.2	-33.3	-29.6	-16.6	-22.2	-6.4	-6.7	-3.4	-9.6	0.0	0.0	-6.9	-16.6	-13.8	
	修正値	<b>-29.7</b>	<b>-36.8</b>	<b>-40.5</b>	<b>-21.7</b>	<b>-28.3</b>	<b>-31.3</b>	<b>-11.0</b>	<b>-20.0</b>	<b>-9.6</b>	<b>-3.3</b>	<b>-8.3</b>	<b>-8.8</b>	<b>7.2</b>	<b>-3.4</b>	<b>-1.6</b>	<b>-12.3</b>	<b>-8.8</b>	<b>-11.4</b>
傾向値	-21.6	-	-32.8	-38.2	-	-33.5	-26.4	-19.1	-	-10.8	-	-	-	-5.4	-	-	-	-	
収益	増加	6.9	7.4	-	-	-	3.7	6.7	3.7	9.7	13.3	-	6.5	10.0	3.4	-	6.7	-	
	変らず	48.3	44.4	55.6	72.4	63.0	59.3	66.6	66.7	67.7	66.7	72.4	67.7	60.0	72.5	65.5	56.6	69.0	
	減少	44.8	48.2	44.4	27.6	37.0	37.0	26.7	29.6	22.6	20.0	27.6	25.8	30.0	24.1	34.5	36.7	31.0	
	D・I	-37.9	-40.8	-44.4	-27.6	-37.0	-33.3	-20.0	-25.9	-12.9	-6.7	-27.6	-19.3	-20.0	-20.7	-34.5	-30.0	-31.0	
	修正値	<b>-37.2</b>	<b>-38.8</b>	<b>-44.1</b>	<b>-26.7</b>	<b>-33.1</b>	<b>-33.0</b>	<b>-17.3</b>	<b>-22.2</b>	<b>-14.9</b>	<b>-7.2</b>	<b>-26.3</b>	<b>-17.2</b>	<b>-15.4</b>	<b>-19.2</b>	<b>-29.8</b>	<b>-25.4</b>	<b>-14.4</b>	<b>-30.3</b>
傾向値	-27.3	-	-38.4	-43.6	-	-38.8	-31.7	-26.5	-	-22.3	-	-	-	-21.9	-	-	-	-	
価格動向	請負価格	-10.3	-14.8	-22.2	-10.3	-18.5	-18.5	-13.3	-7.4	3.3	-3.3	6.9	-3.3	6.7	6.9	10.3	3.3	0.0	
	修正値	<b>-8.0</b>	<b>-10.6</b>	<b>-23.4</b>	<b>-8.0</b>	<b>-16.7</b>	<b>-20.5</b>	<b>-10.2</b>	<b>-7.7</b>	<b>1.9</b>	<b>-1.9</b>	<b>4.7</b>	<b>-2.2</b>	<b>10.3</b>	<b>5.9</b>	<b>12.1</b>	<b>5.0</b>	<b>1.8</b>	<b>-0.7</b>
	傾向値	-6.9	-	-13.7	-	-17.5	-	-16.3	-	-14.4	-	-9.0	-	-2.3	-	3.9	-	-	
	材料価格	-3.5	-3.7	-3.7	-3.5	7.4	-3.7	20.0	7.4	35.5	23.4	51.7	41.9	56.7	44.8	69.0	56.7	55.2	
修正値	<b>-1.4</b>	<b>4.9</b>	<b>-2.8</b>	<b>-3.4</b>	<b>5.6</b>	<b>-4.6</b>	<b>22.4</b>	<b>5.5</b>	<b>33.2</b>	<b>26.8</b>	<b>48.6</b>	<b>37.8</b>	<b>55.9</b>	<b>43.1</b>	<b>65.5</b>	<b>56.2</b>	<b>9.6</b>	<b>56.3</b>	
傾向値	10.9	-	2.7	-	-0.5	-	2.6	-	9.9	-	21.7	-	34.8	-	47.1	-	-	-	
在庫・繰り	在庫数量	-13.8	0.0	-7.4	-10.3	-7.4	-7.4	-3.3	-7.4	-3.2	-3.3	-3.4	-6.5	-6.7	-3.4	-3.4	-13.3	-6.9	
	修正値	<b>-10.3</b>	<b>0.3</b>	<b>-6.8</b>	<b>-7.7</b>	<b>-6.9</b>	<b>-7.2</b>	<b>-5.7</b>	<b>-7.5</b>	<b>0.3</b>	<b>-5.0</b>	<b>-2.6</b>	<b>-4.1</b>	<b>-6.8</b>	<b>-2.5</b>	<b>-5.8</b>	<b>-12.4</b>	<b>1.0</b>	<b>-8.3</b>
	資金繰り	-31.1	-7.4	-18.5	-24.2	-7.4	-18.5	0.0	-11.1	19.3	-3.3	3.4	6.5	0.0	3.5	0.0	-10.0	0.0	
修正値	<b>-26.9</b>	<b>-6.0</b>	<b>-19.9</b>	<b>-19.5</b>	<b>-8.8</b>	<b>-18.3</b>	<b>-0.7</b>	<b>-12.8</b>	<b>19.9</b>	<b>-4.9</b>	<b>2.4</b>	<b>8.3</b>	<b>-0.2</b>	<b>3.6</b>	<b>-1.1</b>	<b>-9.1</b>	<b>-0.9</b>	<b>-3.2</b>	
前年同期比	売上額	-51.8	-	-70.4	-	-40.7	-	-30.0	-	-16.1	-	0.0	-	-6.6	-	-17.2	-	-	
	収益	-41.4	-	-51.9	-	-33.3	-	-23.3	-	-16.1	-	-6.9	-	-13.3	-	-20.7	-	-	
雇用	残業時間	-31.0	-18.5	-25.9	-24.1	-11.1	-18.5	-10.0	-7.4	0.0	-6.7	-10.3	-9.7	-16.7	-6.9	-17.2	-16.7	-13.8	
	人手	-17.2	-19.2	-22.2	-17.2	-19.2	-14.8	-13.4	-23.1	-22.6	-23.3	-17.3	-22.6	-23.4	-20.7	-20.7	-23.4	-24.2	
借入金	借入をした (%)	27.6	25.9	18.5	13.8	18.5	7.4	6.7	7.4	9.7	6.7	17.2	9.7	6.9	6.9	13.8	10.3	6.9	
	借入をししない (%)	72.4	74.1	81.5	86.2	81.5	92.6	93.3	92.6	90.3	93.3	82.8	90.3	93.1	93.1	86.2	89.7	93.1	
	借入難易度	14.3	-	7.4	-	12.0	-	18.5	-	14.8	-	16.0	-	3.8	-	7.7	-	-	
有効回答事業所数		29		27		27		30		31		29		30		29			

注 各項目の右側は前期調査時における予想(計画)値です。

項目	調査期		2020年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 10月~12月期	
	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期						
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	-3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-3.6	0.0	0.0	-3.3	-3.4	0.0	-3.3		0.0	
	実施した	6.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	6.9	6.9	3.4	13.3	0.0	3.7	13.3	7.4	
	事業用地・建物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	機械・設備の新・増設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-
	機械・設備の更改	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	100.0	25.0	-	50.0
	事務機器	50.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	50.0	50.0	100.0	-	25.0	-	-	50.0	-	50.0
	車両	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	100.0	50.0	-	75.0	-	-	50.0	-	-
	その他	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない	93.1	96.2	100.0	100.0	100.0	100.0	93.3	100.0	93.3	93.1	93.1	96.6	86.7	100.0	96.3	86.7		92.6
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	44.8		51.9		48.1		40.0		29.0		31.0		30.0		34.5		
人手不足		37.9		22.2		29.6		16.7		29.0		20.7		13.3		17.2			
大手企業との競争の激化		17.2		11.1		14.8		10.0		9.7		6.9		6.7		10.3			
同業者間の競争の激化		27.6		29.6		29.6		33.3		25.8		20.7		20.0		17.2			
親企業による選別の強化		-		-		-		-		-		-		-		-			
合理化の不足		-		3.7		-		-		-		3.4		-		-			
利幅の縮小		10.3		18.5		22.2		13.3		16.1		17.2		26.7		20.7			
材料価格の上昇		10.3		11.1		14.8		26.7		32.3		44.8		63.3		69.0			
下請の確保難		10.3		7.4		11.1		13.3		6.5		3.4		10.0		-			
駐車場・資材置場の確保難		-		-		-		-		-		-		-		3.4			
人件費の増加		-		-		-		-		-		3.4		3.3		6.9			
人件費以外の経費の増加		-		-		-		-		3.2		3.4		-		-			
技術力の不足		6.9		-		7.4		3.3		-		3.4		-		-			
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-			
天候の不順		6.9		7.4		7.4		6.7		3.2		3.4		6.7		3.4			
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		3.3		-			
大手企業・工場の縮小・撤退		3.4		-		-		-		3.2		-		-		-			
その他	-		3.7		-		-		3.2		-		-		3.4				
問題なし	3.4		3.7		3.7		6.7		12.9		13.8		6.7		3.4				
重点経営施策(%)	販路を広げる	65.5		63.0		55.6		56.7		54.8		41.4		43.3		48.3			
	経費を削減する	34.5		33.3		22.2		30.0		32.3		37.9		50.0		41.4			
	情報力を強化する	27.6		18.5		7.4		23.3		9.7		10.3		16.7		24.1			
	新しい工法を導入する	3.4		3.7		7.4		6.7		-		6.9		-		-			
	新しい事業を始める	-		-		-		3.3		3.2		3.4		-		-			
	技術力を高める	27.6		29.6		14.8		13.3		19.4		17.2		23.3		17.2			
	人材を確保する	24.1		18.5		40.7		23.3		35.5		34.5		20.0		20.7			
	パート化を図る	3.4		3.7		3.7		-		3.2		3.4		3.3		3.4			
	教育訓練を強化する	6.9		3.7		3.7		-		6.5		3.4		10.0		-			
	労働条件を改善する	3.4		3.7		-		-		-		-		6.7		-			
	不動産の有効活用を図る	-		3.7		-		-		-		-		-		-			
その他	-		-		-		-		-		3.4		-		-				
特になし	-		3.7		7.4		10.0		9.7		13.8		6.7		3.4				
有効回答事業所数		29		27		27		30		31		29		30		29			

# 不動産業 [2022年7~9月期]

項 目	調査期		2020年		2021年		2021年		2021年		2021年		2022年		2022年		2022年		対 前期比	2022年 10月~12月期
	10月~12月期	10月~12月期	10月~12月期	1月~3月期	1月~3月期	4月~6月期	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期	10月~12月期	10月~12月期	1月~3月期	1月~3月期	4月~6月期	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期			
業況	良 い	6.3	6.3	-	-	5.9	-	12.5	-	12.5	6.3	6.3	6.7	25.0	6.3	6.3	25.0		6.3	
	普 通	81.2	74.9	75.0	80.0	64.7	87.5	62.5	70.6	75.0	74.9	68.7	80.0	56.2	62.4	74.9	56.2		81.2	
	悪 い	12.5	18.8	25.0	20.0	29.4	12.5	25.0	29.4	12.5	18.8	25.0	13.3	18.8	31.3	18.8	18.8		12.5	
	D・I	-6.2	-12.5	-25.0	-20.0	-23.5	-12.5	-12.5	-29.4	0.0	-12.5	-18.7	-6.6	6.2	-25.0	-12.5	6.2		-6.2	
	修正値	-4.7	-12.1	-25.2	-21.8	-24.0	-11.9	-9.4	-26.4	-0.2	-12.5	-14.3	-8.4	5.3	-21.4	-9.4	10.2	-14.7	-6.8	
傾向値	-10.9		-14.1		-18.6		-18.4		-16.0		-14.5		-10.0		-6.3					
売上額	増 加	6.3	12.5	-	12.5	11.8	6.3	25.0	5.9	12.5	6.3	-	12.5	18.8	6.3	6.3	12.5		-	
	変 ら ず	74.9	68.7	68.7	68.7	58.8	74.9	50.0	64.7	68.7	68.7	75.0	74.9	68.7	68.7	81.2	62.5		81.2	
	減 少	18.8	18.8	31.3	18.8	29.4	18.8	25.0	29.4	18.8	25.0	25.0	12.5	6.3	25.0	12.5	25.0		18.8	
	D・I	-12.5	-6.3	-31.3	-6.3	-17.6	-12.5	0.0	-23.5	-6.3	-18.7	-25.0	0.0	12.5	-18.7	-6.2	-12.5		-18.8	
	修正値	-12.4	-5.2	-30.6	-10.4	-18.3	-10.0	1.9	-17.8	-6.4	-16.6	-19.4	-6.3	12.6	-15.4	-5.4	-4.0	-18.0	-15.1	
傾向値	-14.0		-22.4		-25.1		-19.3		-14.6		-13.0		-8.5		-5.5					
収益	増 加	6.3	12.5	-	12.5	11.8	12.5	25.0	5.9	12.5	-	-	12.5	18.8	6.3	-	12.5		-	
	変 ら ず	81.2	75.0	81.2	75.0	70.6	75.0	56.2	76.5	81.2	81.2	81.2	87.5	81.2	68.7	93.7	68.7		81.2	
	減 少	12.5	12.5	18.8	12.5	17.6	12.5	18.8	17.6	6.3	18.8	18.8	-	-	25.0	6.3	18.8		18.8	
	D・I	-6.2	0.0	-18.8	0.0	-5.8	0.0	6.2	-11.7	6.2	-18.8	-18.8	12.5	18.8	-18.7	-6.3	-6.3		-18.8	
	修正値	-8.7	-0.9	-17.5	-3.5	-5.2	1.3	6.6	-7.9	3.4	-17.5	-13.2	6.1	19.6	-15.3	-6.5	-0.6	-26.1	-15.2	
傾向値	-10.9		-17.7		-17.4		-10.1		-4.6		-3.1		0.0		1.5					
価格動向	販売価格	6.2	-6.3	12.5	-12.5	5.9	12.5	12.5	0.0	18.8	6.3	0.0	12.5	18.8	0.0	18.8	18.8		12.5	
	〃 修正値	6.9	-4.7	8.5	-10.3	10.0	6.1	11.3	1.8	18.4	7.4	-0.8	14.7	22.3	-4.0	16.6	20.2	-5.7	11.8	
	〃 傾向値	0.1		-1.3		1.3		6.9		10.9		10.9		10.9		13.3				
	仕入価格	6.2	-12.5	12.5	-12.5	17.6	12.5	25.0	5.8	37.5	18.8	31.2	31.2	18.8	31.2	25.0	18.8		12.5	
〃 修正値	7.6	-10.4	11.8	-10.3	20.0	8.2	24.4	7.4	36.4	20.9	29.3	31.5	23.6	24.4	25.0	21.7	1.4	16.7		
〃 傾向値	9.5		5.2		5.3		11.4		19.2		25.5		28.0		28.1					
在庫・繰り	在庫数量	0.0	6.2	-18.8	0.0	-35.3	-12.5	-25.0	-23.5	-12.5	-25.0	-25.0	-12.5	-43.8	-25.0	-25.0	-43.8		-25.0	
	〃 修正値	-2.2	2.7	-14.6	-3.5	-34.2	-10.1	-26.2	-21.5	-15.7	-25.4	-20.4	-15.7	-40.7	-22.7	-26.4	-40.1	14.3	-25.3	
	資金繰り	-12.5	-18.7	-6.2	-12.5	-17.6	-6.2	-6.3	-23.5	6.2	-6.3	-18.8	6.2	6.2	-12.5	6.3	6.2		6.3	
〃 修正値	-16.3	-13.0	-5.1	-15.8	-16.6	-6.0	-3.2	-21.1	0.9	-2.2	-15.6	-0.7	5.4	-11.4	5.5	6.9	0.1	8.2		
前年同期比	売上額	-18.7		-18.8		-17.7		-12.5		0.0		-6.2		18.7		0.0				
	収益	-25.0		-12.5		-17.6		-12.5		0.0		-6.2		25.0		-6.2				
雇用	残業時間	-6.3	0.0	-12.5	0.0	-17.6	-12.5	-6.3	-5.9	0.0	-6.3	0.0	0.0	-6.3	0.0	0.0			0.0	
	人手	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.9	0.0	-12.5	-5.9	0.0	-12.5	0.0	0.0	-6.3	0.0	-6.3	-6.3		-12.5	
借入金	借入をした (%)	43.8	43.8	37.5	46.7	41.2	31.3	37.5	35.3	37.5	25.0	25.0	31.3	25.0	31.3	18.8	25.0		18.8	
	借入をしないう (%)	56.2	56.2	62.5	53.3	58.8	68.7	62.5	64.7	62.5	75.0	75.0	68.7	75.0	68.7	81.2	75.0		81.2	
	借入難易度	-6.6		0.0		-18.7		0.0		6.7		0.0		15.4		13.3				
有効回答事業所数		16		16		17		16		16		16		16		16				



## 調査の概要

1. 調査時期 2022年9月上旬
2. 調査方法 面接聴取調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	-	48
卸売業	-	13
小売業	-	49
サービス業	-	49
建設業	-	29
不動産業	-	16
合計	-	204

※新型コロナウイルス感染拡大にともない、調査にご協力いただけない事業所が多数生じていることから、「調査対象事業所数」は把握不能となっております。

### 豊島区中小企業の景況（2022年7～9月期）

令和4年11月発行

発行 豊島区文化商工部生活産業課  
〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1  
電話 (03) 4566-2742

調査実施機関 一般社団法人 東京都信用金庫協会

分析・作成 株式会社 東京商工リサーチ  
〒100-6810 千代田区大手町1-3-1 JAビル  
電話 (03) 6910-3153